

件 名	堺市西区基本計画（案）の策定について
経 過 ・ 現 状 政 策 課 題	【経過】 令和3年4月 西区みらい指針～西区の未来デザイン～を策定 令和3年4月～ 同指針に基づき事業を実施 令和6年6～12月 堺市西区政策会議において計画のイメージ、区民アンケートの内容を検討 令和7年1～2月 堺市西区区民アンケートを実施 令和7年3～10月 堺市西区政策会議において本計画（案）について意見徴収 【現状・課題】 ○人口は市全体と同様に減少傾向であるが、直近3年は社会増で推移し、年少人口比率は12.2%（令和6年12月末現在）と市全体よりも高い。一方、自治会加入率は51%（令和7年度）で市全体と同様に毎年減少している。 ○区域には沿岸部と石津川があり、津波や河川氾濫による災害リスクがあり、区域内で防災意識に差がある。 ○四ツ池遺跡や履中天皇陵古墳、大鳥大社、浜寺公園駅旧駅舎などの歴史・文化資源に加え、だんじりやふとん太鼓などの伝統行事、伝統工芸、伝統産業が継承されている。また、商業施設や事業所、地域活動団体など社会資源も豊富である。
対 応 方 針 今 後 の 取 組 （ 案 ）	【計画策定の趣旨】 ○人口減少が進み、医療や社会保障サービスを支える人材の不足や費用の増大、行政職員の確保、地域活動の担い手不足が懸念される。また、区民の価値観やニーズの多様化が進み、抱える課題も複雑化・多様化している。このような中、持続的に発展する地域社会の実現には、西区の豊富な地域資源を活かし、地域で活動する多様な主体が協力し合い新たな価値を創出することが求められている。このため、西区の現在地を把握し、課題や目標を区民と共有しながら区政運営を進めるよう、「堺市西区基本計画みらいキャンバス～ともに描く 西区の未来～」を策定する。 【計画期間】 令和8年度～令和12年度 【めざす将来像】 「ひとの想いがつながり 地域の宝が輝く 笑顔あふれる 西区」 ～持続的に発展する 住みたい 住み続けたい 西区～

	【2つの基本姿勢】 ○基本姿勢1 プラットフォーム・ビルダー ～つなぐ力を高め 地域の課題解決を進める～ ○基本姿勢2 スマート区役所 ～デジタル社会と調和した住民サービスの質の向上～ 【4つの基本方針と重点施策】 ○基本方針1 健康習慣の定着 重点施策1 世代に応じた健康支援 重点施策2 健康行動の促進 ○基本方針2 子育て環境の充実 重点施策1 地域でつながる子育てのWA!の充実 重点施策2 こどもが「主役」になれる西区 ○基本方針3 安全・安心の確保 重点施策1 地域防災力・減災力の向上 重点施策2 犯罪・交通事故のないセーフシティの実現 重点施策3 相談支援ネットワークの充実 ○基本方針4 地域魅力の共有 重点施策1 西区の魅力の再発見 重点施策2 西区ファンの拡大と魅力の浸透 【スケジュール】 令和7年12月下旬 意見募集の開始 令和8年3月 堺市西区政策会議の開催 計画策定・公表
効果の想定	2つの基本姿勢で4つの基本方針に基づく各事業を着実に実施し、個別の活動指標や成果指標を基にした検証結果及び区政策会議での意見聴取を踏まえて取組を改善することで、「ひとの想いがつながり 地域の宝が輝く 笑顔あふれる 西区」の実現をめざす。
関係局との政策連携	全局区

堺市西区基本計画「みらいキャンバス」～ともに描く 西区の未来～【概要版】（案）

第1章 堺市西区基本計画 みらいキャンバスについて

【策定趣旨】

人口減少が進む中、医療や社会保障サービスを支える人材の不足や費用の増大、行政職員の確保、地域活動の担い手不足が懸念される。区民の価値観やニーズの多様化、抱える課題の複雑化・多様化に対応し、**持続的に発展する地域社会**を実現するためには、地域資源を活かし、多様な主体が協力し合い新たな価値を創出することが求められる。このため、**西区の現在地を把握し、課題や目標を区民と共有しながら区政運営を進める。**

堺市西区基本計画を策定

計画期間：令和8（2026）年度～令和12（2030）年度

第2章 西区の現在地

【人口】134,876人 【世帯数】65,412世帯（R6年12月末）
10年間で自然減（↓）＋社会増（↑）＝全体としては減少（↓）

減少率 西区2.6%（市全体4.0%）
年少人口比率 西区12.2%（市全体11.6%）
生産年齢人口比率 西区61.3%（市全体60.1%）
高齢人口比率 西区26.6%（市全体28.3%）

- はまでらエリア【人口】38,851人
（浜寺・浜寺東・浜寺石津・浜寺昭和小学校区）
・西部は大阪湾に面し、北部には石津川が流れる

主な地域資源
浜寺公園駅旧駅舎（写真）、
諏訪ノ森駅旧駅舎、浜寺公園、
羽衣国際大学 ほか



- ・津波浸水想定区域、高潮浸水想定区域がある

- おおとり・ふくいずみエリア【人口】57,257人
（鳳・鳳南・福泉・福泉上・福泉東小学校区）
・乗車人員約18,000人/日の鳳駅がある

主な地域資源
大鳥大社（写真）、日部神社、
西区役所・西図書館・西堺警察署等
の公的施設、高校（4校） 鳳公園
笠池公園 ほか



- つくのエリア【人口】38,768人
（津久野・向丘・平岡・家原寺・上野芝小学校区）
・人口総数・年少人口の減少数が最も小さいエリア

主な地域資源
履中天皇陵古墳（写真）、家原
寺、家原大池体育館、市立総合医
療センター、市の伝統産業である注
染・和晒工場 ほか



第3章 西区の将来像と基本方針

めざす将来像の実現に向け、2つの基本姿勢を掲げ、4つの基本方針に基づき区政を推進する。

■めざす将来像

ひとの想いがつながり 地域の宝が輝く 笑顔あふれる 西区
～ 持続的に発展する 住みたい 住み続けたい 西区 ～

■2つの基本姿勢

プラットフォーム・ビルダー*

～つなぐ力を高め 地域の課題解決を進める～

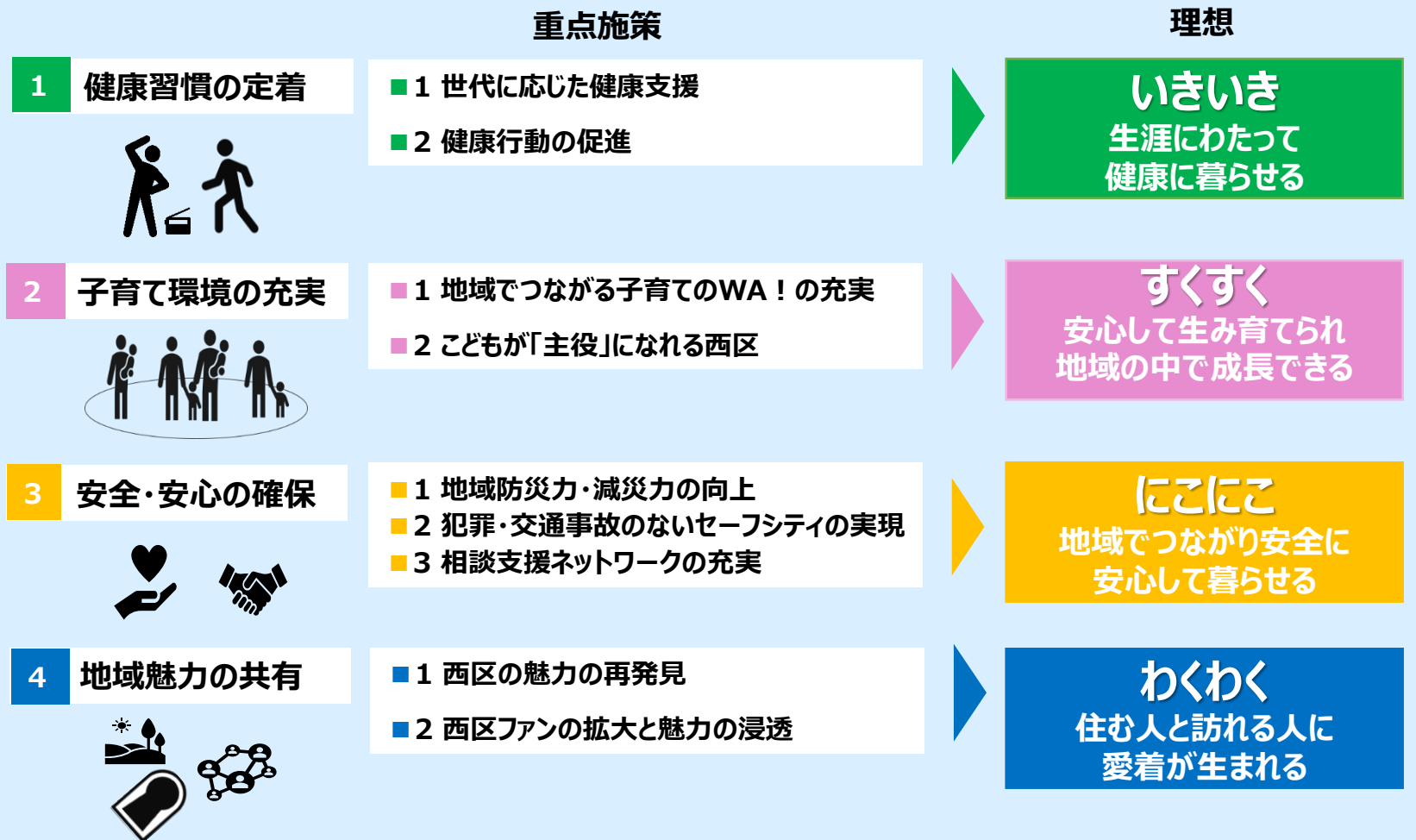
スマート区役所

～ デジタル社会と調和した住民サービスの質の向上 ～

*地域のために主体的に活動する人や団体どうしを結びつけ、相互に協力し合える環境をつくる役割

■4つの基本方針

全ての人の生活に不可欠な4つの要素を基本方針として定め、各方針に重点施策を設定し取組を進める。



第4章 計画の推進体制

区役所と区民等が協働して、本計画を着実かつ効果的に推進する。
実効性を高めるため、施策や事業の成果等を検証・評価し、区政策会議の意見を踏まえながら改善する。

(案)

堺市西区基本計画

みらいキャンバス

～ともに描く 西区の未来～



令和 () 年 月

堺市西区役所

堺市西区基本計画 みらいキャンバス ～ともに描く 西区の未来～

目 次

第1章 堺市西区基本計画みらいキャンバスについて

I 策定の趣旨	p1
II 計画期間	p2
III 位置づけ	p2

第2章 西区の現在地

I 概況	p3
1 人口の推移	p5
2 事業所	p10
3 住宅	p12
4 公園	p12
5 自治会加入率の推移	p13
II エリア別にみる西区	p14
はまでらエリア	p15
おおとり・ふくいずみエリア	p17
つくのエリア	p19
西区いいところマップ	p21

第3章 西区の将来像と基本方針

I 西区のめざす将来像と基本姿勢	p23
1 めざす将来像	p23
2 基本姿勢	p24
基本姿勢 1 プラットフォーム・ビルダー	p24
基本姿勢 2 スマート区役所	p25
II 4つの基本方針	p26
基本方針 1 健康習慣の定着	p27
基本方針 2 子育て環境の充実	p29
基本方針 3 安全・安心の確保	p31
基本方針 4 地域魅力の共有	p35

第4章 計画の推進体制

I 実施体制	p37
II 管理体制	p38

資料編 数字でみる西区	p39
-------------	-----

第1章 堺市西区基本計画 みらいキャンパスについて

I 策定の趣旨

西区では、市政運営の大方針である「堺市基本計画」のもと、住みよく魅力のあるまちを築くため、令和3年4月に「西区みらい指針」を策定し、「安全・安心のまちをみんなで創る」ことを基軸に、「まちの資源をつないで活かす」、「みんなで支え合い“地域の子”を育む」取組を進めてきました。また、西区への愛着が区民の間で浸透し醸成されるよう、西区に受け継がれてきた歴史や伝統文化をはじめとする魅力の発信に取り組んでいます。

堺市の出生数は1973年の17,330人をピークに、2024年は4,932人と減少しています。2040年頃には団塊ジュニア世代が高齢者となり、20代前半の人口は団塊ジュニア世代の約3分の1程度になる見込みです。少子化と高齢化の進行により、暮らしや経済活動を支える生産年齢人口（15歳～64歳）が減少し、様々な分野で人材を確保することが困難になります。西区においても、同年齢人口の減少による医療や社会保障サービスの人材不足と費用の増大、職員や地域活動の担い手の不足が懸念される中で、地域社会の持続的な発展が求められています。

近年、デジタル技術の急速な発展に伴い、データの収集や活用、AI（人工知能）の利用が進むことにより、新たな価値が創造され、生活スタイルや働き方、学び方が多様化しています。また、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進は、生活の利便性の向上や産業面における効率化、生産性の向上など、社会に変化をもたらしています。区役所においても、住民サービスの質を高め、人材不足やコスト増大の課題を解決する手段として、ICTの活用を加速させる必要があります。

また、社会の変化に伴い、区民の価値観やニーズの多様化が進み、抱える課題も多様化、複雑化しています。そのため、社会からの孤立を防ぎ、健康や子育て、防災や防犯といった様々な分野において地域社会の中で助け合える「人と人とのつながり」が一層重要な役割として期待されます。西区においては地域資源に恵まれた特性を活かしながら、行政と区民、区域をフィールドに活動する人々や団体など多様な主体がつながり、ともに協力しあいながら価値を創出し続けられる地域社会にしたいと考えます。

そこで、市民意識調査や区民アンケートの結果、各種データから西区の現在地を把握し、課題や目標を区民と共有しながら区政運営を進めるため、「堺市西区基本計画 みらいキャンパス ～ともに描く 西区の未来～」(以下「本計画」という。)を策定します。持続的に発展する「住みたい 住み続けたい 西区」をめざし、大きなキャンパスを広げ、区民と共に未来を描こうという趣旨から、呼称を「みらいキャンパス」とします。

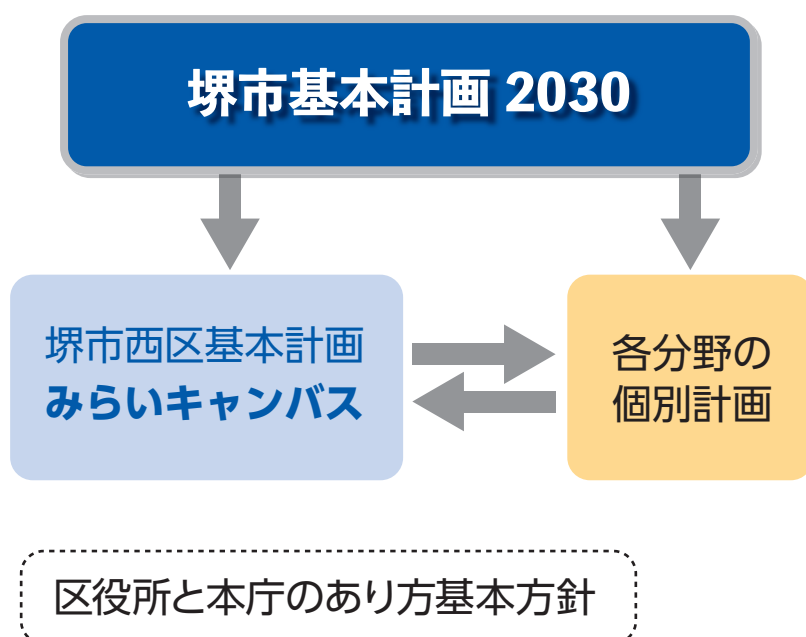
Ⅱ 計画期間

本計画の計画期間は、令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)までの5年間とします。

Ⅲ 位置づけ

本計画は、区政推進の拠り所として策定した西区の独自計画であり、市政運営の大方針として本市が取り組むべき方向性を示した「堺市基本計画」の下位計画に位置づくものです。また、市政各分野の個別計画を補完し、「区役所と本庁のあり方基本方針」を踏まえて策定するものです。

(イメージ)



第2章 西区の現在地

I 概況



西区は、市域の西部に位置し、南北に長く高石市と和泉市に隣接しています。区域の西側には大阪湾が広がり、北西部に堺泉北臨海工業地帯、中部の市街地、南部の調整区域に区分されます。

区域は住宅地、商業地、工業地、農地などで形成され、JR阪和線の鳳駅周辺には商業施設や西区役所をはじめとする公共施設が集まっています。

堺泉北港、浜寺公園と泉北臨海緑地に挟まれた浜寺水路、石津川や百済川などの河川、鶴田池や万崎池など多くのため池があり、多様な水辺空間を有することも特徴です。

現在、南海本線の連続立体交差事業や津久野駅周辺の一体的な市街地再整備など、交通環境の改善や都市機能の更新に取り組んでいます。

西区は、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の一つで日本において3番目に大きな履中天皇陵古墳や、国の史跡に指定された弥生時代の集落跡である四ツ池遺跡、浜寺昭和町や下田町から出土した銅鐸に見られるように古くから人々が暮らし栄えた区域です。紀州街道、熊野街道（小栗街道）の歴史街道が通り、古くから大鳥大社を中心として熊野詣の参詣道として賑わいました。浜寺公園駅旧駅舎や諏訪ノ森駅旧駅舎など、国登録有形文化財の歴史的建造物も存在します。区域内各地では、だんじりやふとん太鼓、「石津太神社のやっさいほっさい」（火祭り、市指定無形民俗文化財）など祭礼や伝統行事も盛んに行われています。

面積 28.62km²

全市149.83km²の約19.1%を占め
南区に次いで2番目の広さ

人口 134,876人

全市811,993人
北区、堺区に次いで3番目の多さ

世帯数 65,412世帯

全市404,180世帯

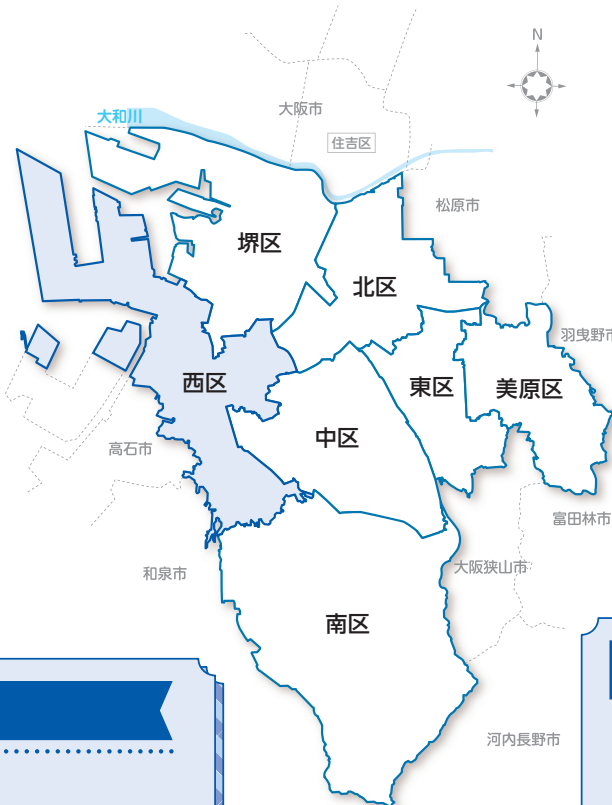
道路

【南北主要幹線道路】

阪神高速道路4号湾岸線、
国道26号、
府道大阪臨海線、
堺阪南線、
大阪和泉南線

【東西主要幹線道路】

府道泉大津美原線、
大阪高石線



子育て・教育

認定こども園・保育所園
31施設

幼稚園4園
小学校14校
中学校6校
高等学校4校
大学2施設

公園

都市公園211箇所

面積69.68ha 一人当たり面積 5.24m²
浜寺公園、鳳公園、笠池公園、家原大池公園、
神野公園、津久野公園、霞ヶ丘公園 ほか

河川・水路・ため池

石津川、百済川、和田川、
浜寺水路、鶴田池、元禄池、
万崎池、守屋池 ほか

スポーツ・文化・公共施設

西区役所、西文化会館、西老人福祉センター、
西図書館、西消防署、西堺警察署、福泉公民館、
泉北府民センター、家原大池体育館、
みなと堺グリーンひろば ほか

公共交通

南海本線 石津川駅、諏訪ノ森駅、浜寺公園駅
阪堺線 石津北駅、石津駅、船尾駅、浜寺駅前駅
JR阪和線 上野芝駅、津久野駅、鳳駅
南海バス 美木多線、堺東・光明池線、
津久野線、泉北・泉ヶ丘地区線、
堺東・鳳西町線、
堺市立総合医療センター線、
北野田・鳳線

1 人口の推移

(1) 総人口と年齢別人口

① 総人口の推移と人口密度

西区の人口は、平成27（2015）年から平成28（2016）年にかけて増加し、10年間のピークを迎えた後、減少傾向で推移しているものの、堺市全体よりも低い減少率です。



資料：住民基本台帳人口（外国人住民を含む）（各年12月末）

西区は、面積が全区のうち南区に次いで大きく、人口は北区、堺区に次いで3番目に多い区です。

人口密度は美原区、南区に次ぐ低い数値ですが、居住区域ではない臨海部の堺泉北臨海工業地帯の面積（11.69km²）を除くと7,966.7km²/人で、東区に次ぐ高い数値です。

＜西区の面積・人口密度＞

	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (1 km ² 当たり)
堺区	23.66	147,241	6,223.2
中区	17.88	118,050	6,602.3
東区	10.49	85,994	8,197.7
西区	28.62	134,876	4,712.6
南区	40.39	132,177	3,272.5
北区	15.60	156,441	10,028.3
美原区	13.20	37,214	2,819.2
堺市	149.83	811,993	5,419.4

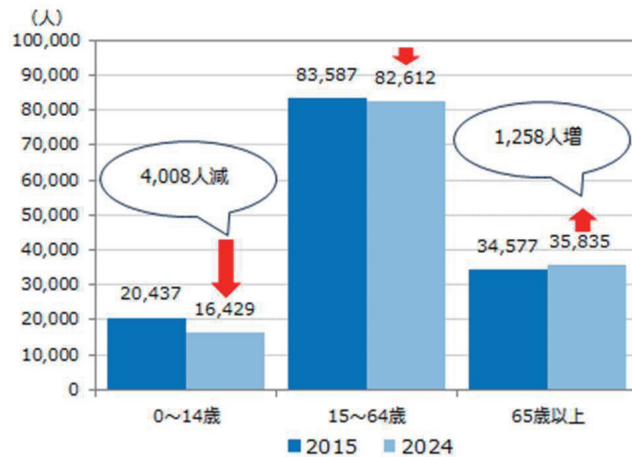
資料：住民基本台帳人口（外国人住民を含む）（令和6年12月末）

②年齢別人口

平成27（2015）年から0～14歳の年少人口は約4,000人減少し、15～64歳の生産年齢人口も減少傾向にあります。

一方、65歳以上の高齢者人口は増加しています。

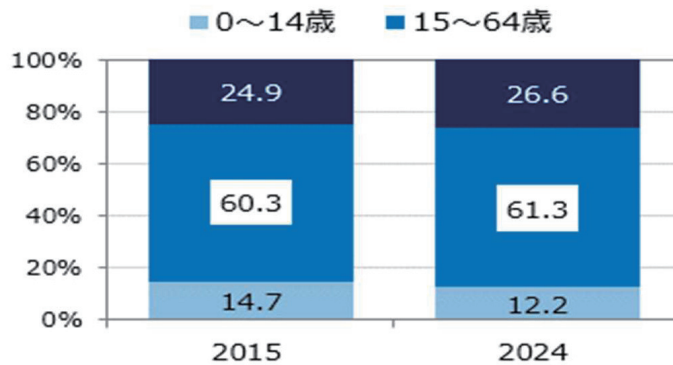
<西区の年齢3区分別人口の推移>



資料：住民基本台帳人口（外国人住民を含む）（各年12月末）

年齢3区分の人口割合で見ると、0～14歳の年少人口割合は低下し続けているものの、令和6（2024）年現在で65歳以上の高齢者人口割合（高齢化率）は26.6%で堺市全体の28.3%と比べて低い割合です。

<西区の年齢3区分別人口割合の推移>



資料：住民基本台帳人口（外国人住民を含む）（各年12月末）

西区は、堺市全体と比べて年少人口と生産年齢人口の減少率が低く、高齢人口の増加率も比較的緩やかです。

<年齢3区分別人口割合 他区・市との比較>



資料：住民基本台帳人口（外国人住民を含む）（各年12月末）

③一人暮らしの高齢者数

一人暮らしの高齢者は、年々増加しています。

<西区の一人暮らしの高齢者数>

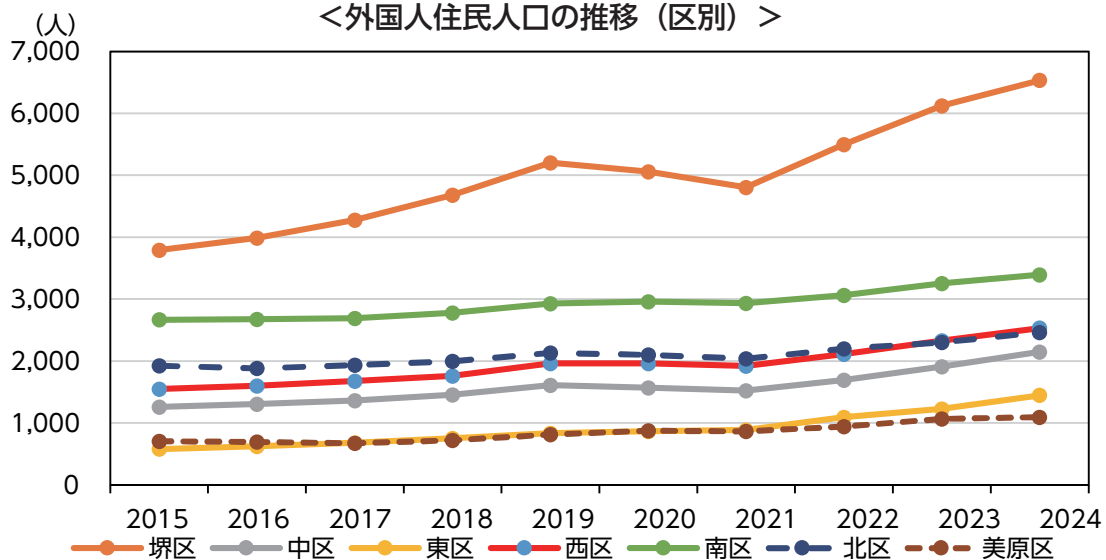
区分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
一人暮らしの高齢者数	11,251人	11,536人	11,728人	11,898人	12,098人	12,269人
高齢者数に占める割合	31.0%	31.7%	32.4%	33.1%	33.8%	34.3%

資料：堺市調べ

(2) 外国人住民人口

外国人住民人口は全区とも10年間増加で推移しています。西区は令和6（2024）年12月末現在2,533人で、全区中3番目に多い状況です。

<外国人住民人口の推移（区別）>



資料：住民基本台帳人口（外国人住民を含む）（各年12月末）

<外国人住民人口（区別）>

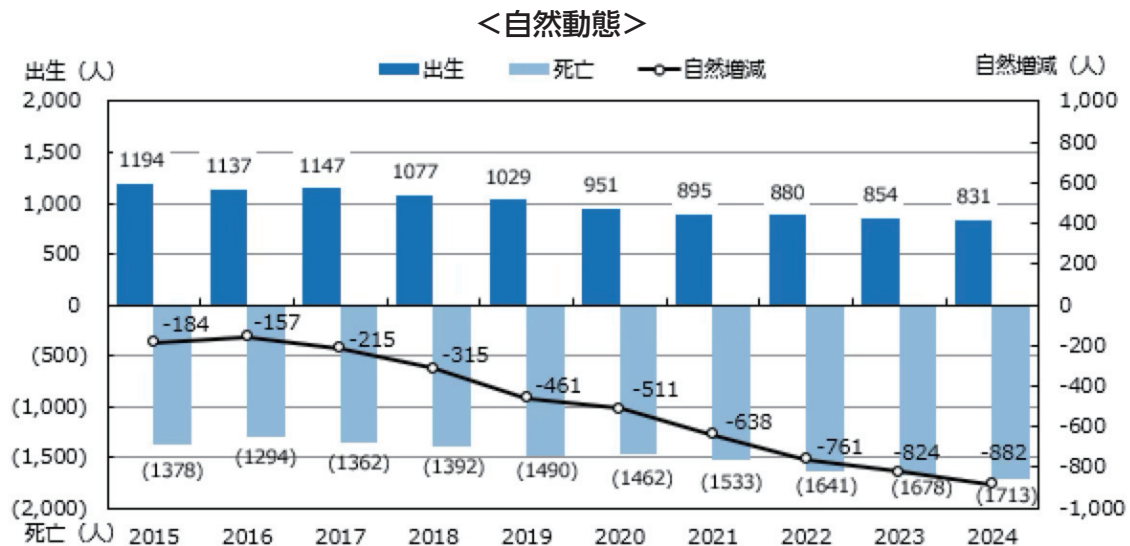
	(人)									
	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
堺区	3,794	3,989	4,275	4,679	5,200	5,058	4,805	5,497	6,121	6,534
中区	1,259	1,303	1,363	1,455	1,608	1,569	1,522	1,695	1,909	2,150
東区	580	623	682	751	837	868	886	1,092	1,230	1,449
西区	1,548	1,602	1,677	1,760	1,963	1,963	1,921	2,113	2,331	2,533
南区	2,669	2,674	2,692	2,779	2,930	2,958	2,934	3,063	3,254	3,396
北区	1,925	1,882	1,935	1,999	2,131	2,100	2,037	2,198	2,303	2,464
美原区	705	696	674	719	814	875	866	943	1,065	1,095
堺市	12,480	12,769	13,298	14,142	15,483	15,391	14,971	16,601	18,213	19,621

資料：住民基本台帳人口（外国人住民を含む）（各年12月末）

(3) 人口の増減

①自然動態

平成27(2015)年から令和6(2024)年までの10年間の西区の自然増減(出生数から死亡数を差し引いた数)は、出生数よりも死亡数が多い自然減の状態が続き、令和6(2024)年時点では10年間で減少数が最多の882人です。



資料：住民基本台帳人口(外国人住民を含む)(各年12月末)

②社会動態

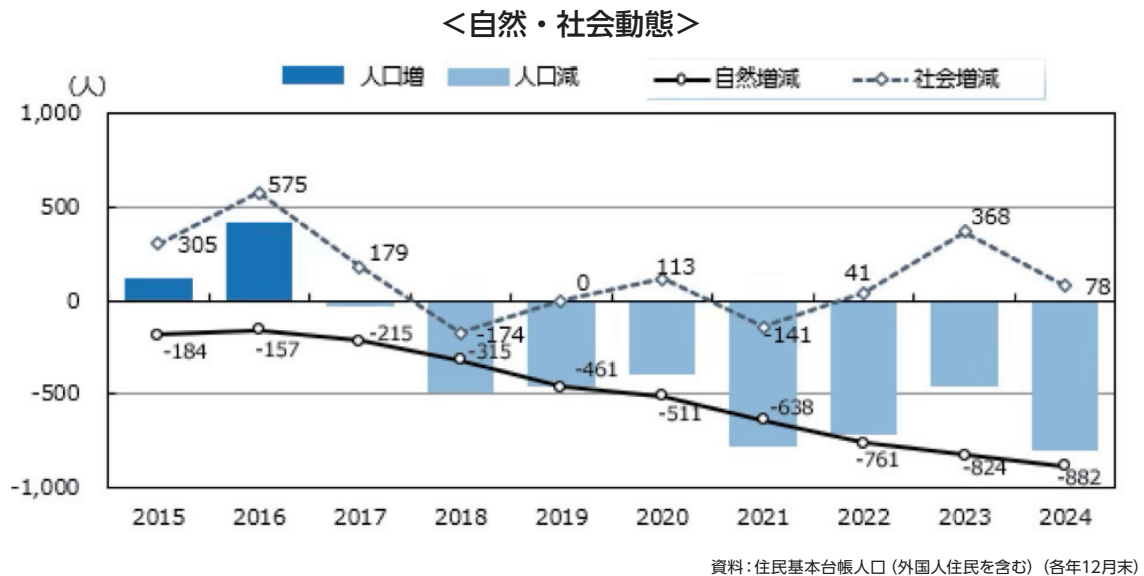
同期間の西区の社会増減(転入数から転出数を差し引いた数)は、転入、転出ともにおおむね年間5千人で推移し、各年で変動がみられますが、直近3年は社会増が続いています。



資料：住民基本台帳人口(外国人住民を含む)(各年12月末)

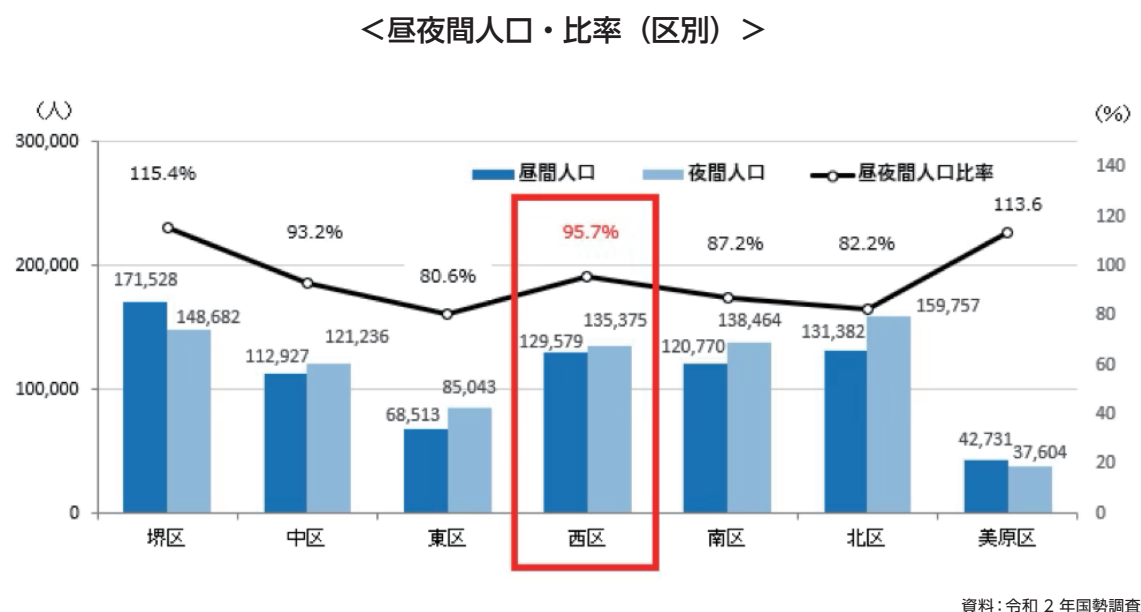
③人口増減（自然増減と社会増減の合計）

同期間の自然増減と社会増減の推移を合わせた人口増減は、平成29（2017）年以降は幅に差があるものの、減少が続いています。



(4) 昼夜間人口比率

昼間人口が夜間人口を上回っているのは堺区、美原区のみで、西区の昼夜間人口比率は、堺区、美原区に次いで3番目に高い数値です。



2 事業所

(1) 事業所数と従業員数

西区の事業所数は、4,578 事業所で、堺区の 7,519 事業所、北区の 4,609 事業所に次いで 3 番目に多く、従業者数では、西区は 60,723 人で、堺区の 95,386 人に次いで 2 番目に多い数値です。

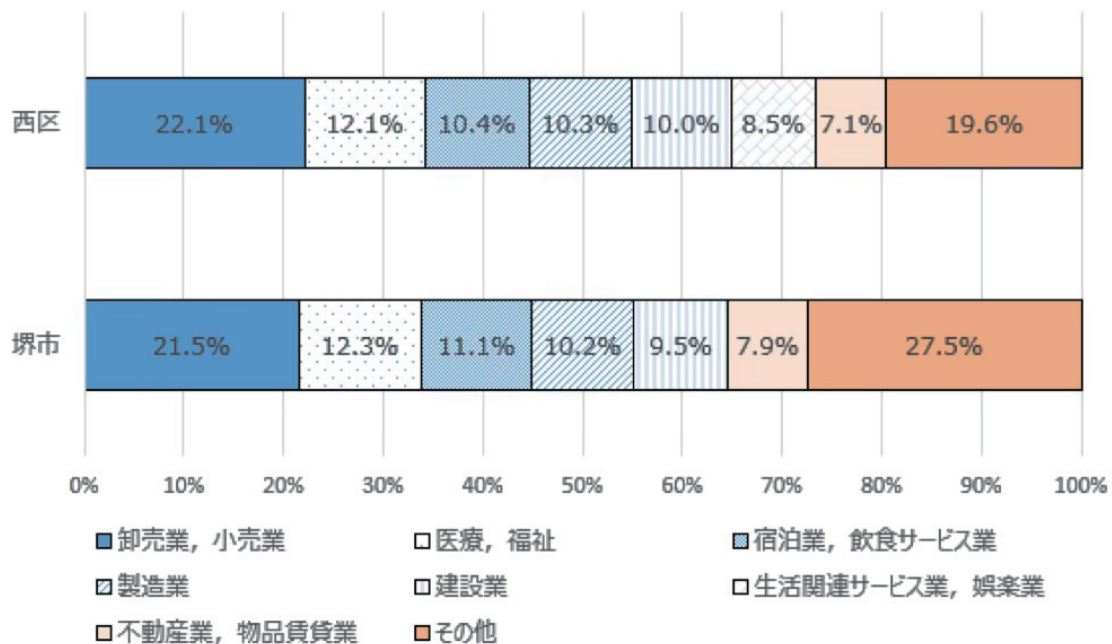
<事業所数と従業者数の構成比（区別）>

	堺区	中区	東区	西区	南区	北区	美原区	堺市
事業所数	7,519	3,814	2,144	4,578	2,831	4,609	1,820	27,315
構成比	27.5%	14.0%	7.8%	16.8%	10.4%	16.9%	6.7%	100.0%
順位	1	4	6	3	5	2	7	
従業者数	95,386	44,061	19,072	60,723	31,920	46,845	22,824	320,831
構成比	29.7%	13.7%	5.9%	18.9%	9.9%	14.6%	7.1%	100.0%
順位	1	4	7	2	5	3	6	

資料：堺の事業所 令和3年経済センサス-活動調査結果

西区の産業大分類別事業所数の構成比は、堺市全体とほぼ同じです。

<産業大分類別事業所数>

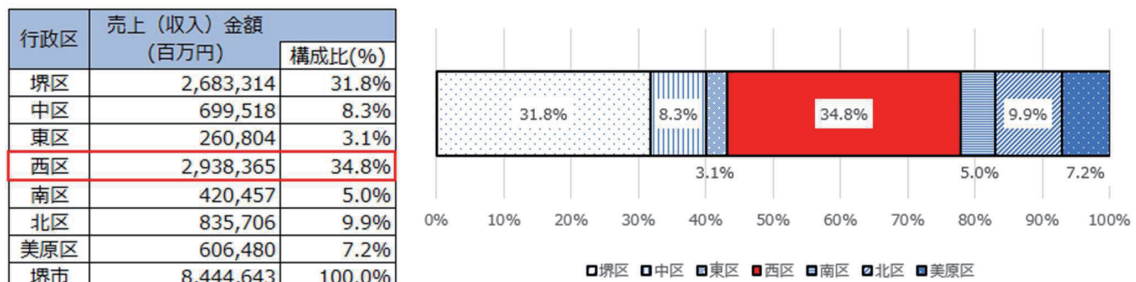


資料：堺の事業所 令和3年経済センサス-活動調査結果

(2) 売上（収入）金額と純付加価値額

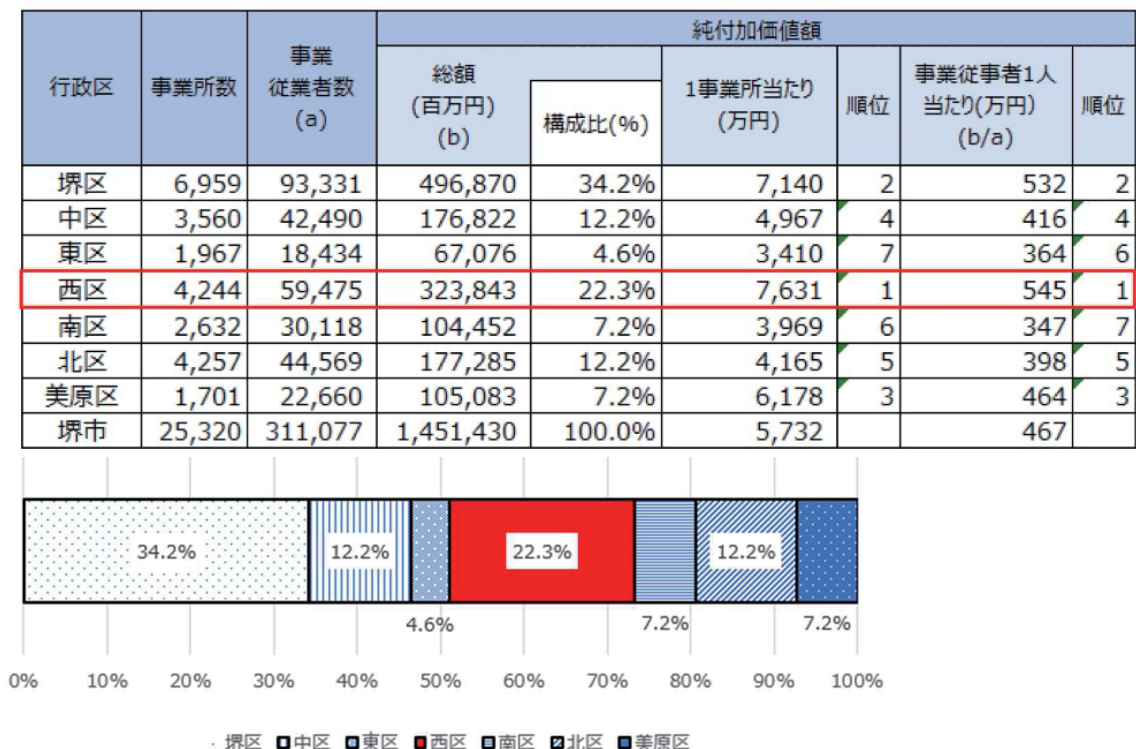
西区の売上（収入）金額は2兆9383億6500万円（構成比34.8%）で全区のうち最も高く、堺区の2兆6833億1400万円（同31.8%）、北区の8357億600万円（同9.9%）を上回っています。

<売上（収入）金額（区別）>



一方、純付加価値額は、西区は3238億4300万円（同22.3%）で、堺区の4968億7000万円（同34.2%）に次ぐ2番目で、3番目の北区（1772億8500万円（同12.2%）より10.1ポイント高い数値です。また、純付加価値額（令和2年1年間の数値）は、1事業所当たりと事業従事者1人当たりのいずれも、西区が最も高い数値です。

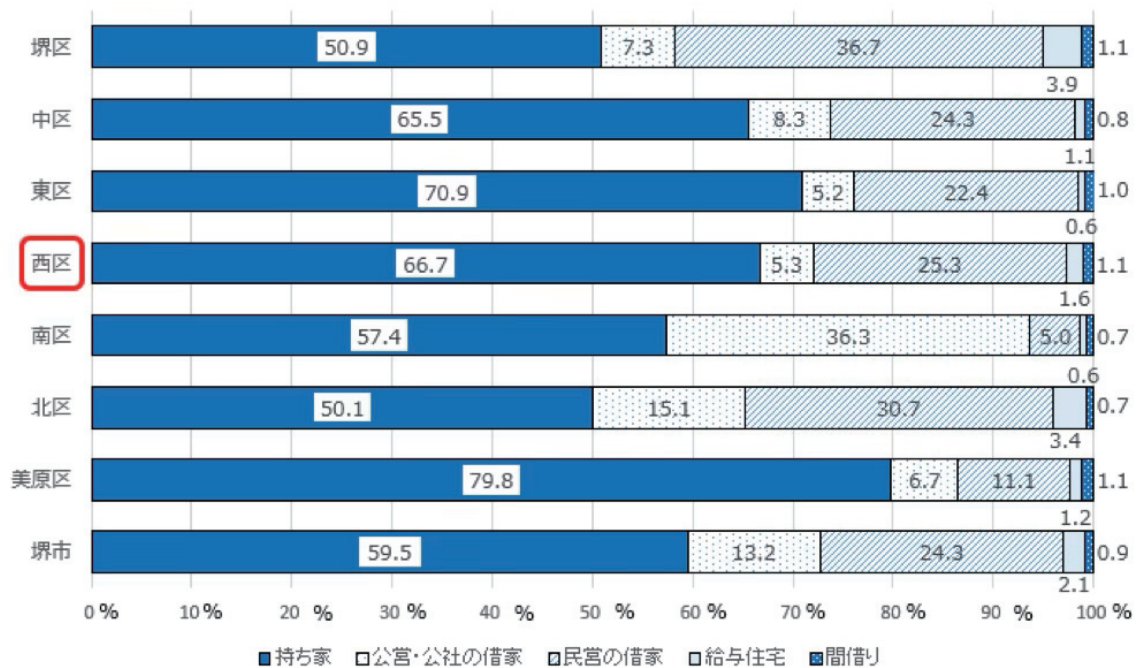
<純付加価値額（区別）>



3 住宅

西区の持ち家の比率は 65%を超えています。堺市全体の比率 59.5%を上回り、美原区、東区に次いで 3 番目に高い数値です。

＜住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯の割合（区別）（令和2年）＞



資料：令和2年国勢調査

4 公園

西区の市民 1 人当たり公園面積は 5.24 m²で、堺市全体の割合よりも低い数値です。

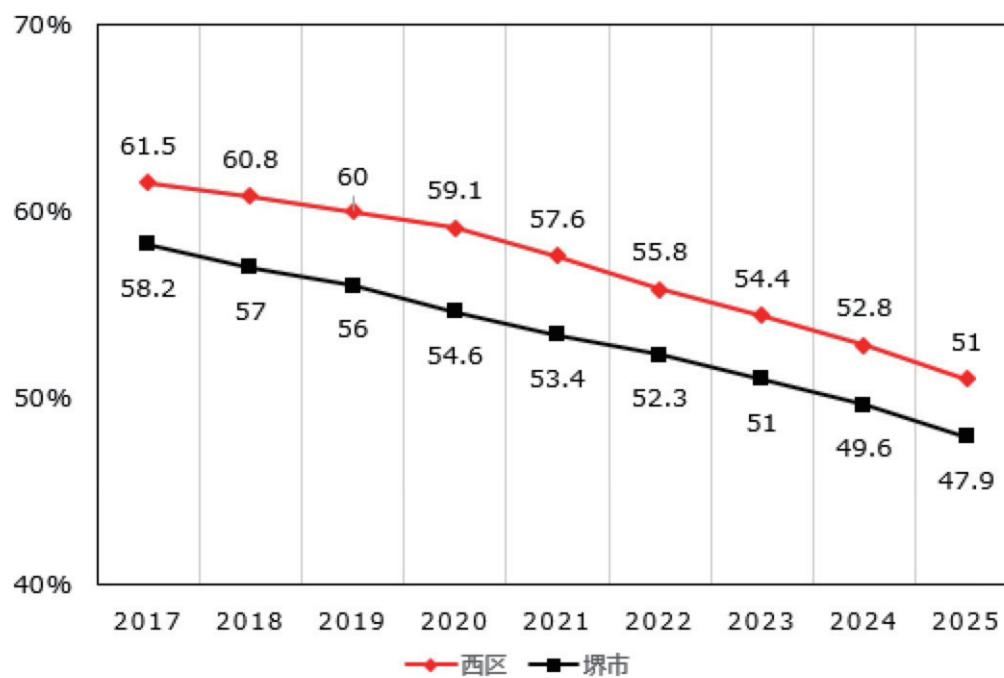
	堺区	中区	東区	西区	南区	北区	美原区	堺市
都市公園数	127	255	129	211	243	134	95	1,194
都市公園面積 (ha)	87.77	40.57	18.39	69.68	330.42	143.64	22.61	713.08
市民1人当たり公園面積 (m ²)	5.89	3.45	2.18	5.24	25.22	9.16	6.16	8.82

資料：令和6年度区政概要

5 自治会加入率の推移

西区の自治会加入率は堺市全体と同様に毎年減少しており、令和7（2025）年度は51.0%です。

＜自治会加入率の推移＞



資料：堺市調べ（各年4月1日）

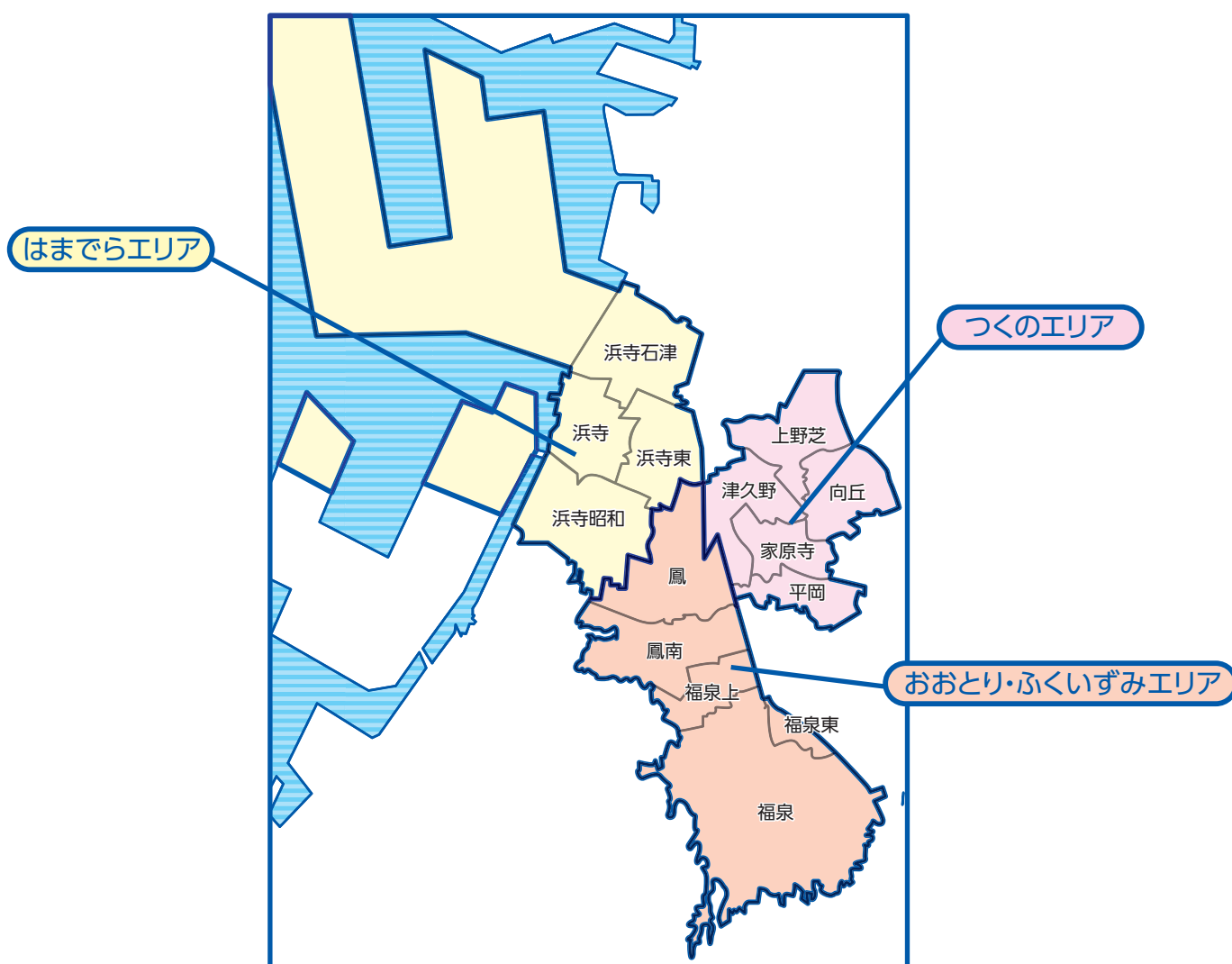
Ⅱ エリア別にみる西区

1 各エリアの特色

地域の特性や区域の課題を把握するため、西区を3つの日常生活圏域ごとに見てみることにします。

日常生活圏域とは、行政区を基に人口規模・公共交通機関の状況等を考慮し複数の小学校区を組み合わせた区域をいいます。西区については、西1区（浜寺・浜寺東・浜寺石津・浜寺昭和小学校区）・西2区（鳳・鳳南・福泉・福泉上・福泉東小学校区）・西3区（津久野・向丘・平岡・家原寺・上野芝小学校区）の3つの日常生活圏域に区分しています。

本計画ではそれぞれを「はまでらエリア」、「おおとり・ふくいずみエリア」、「つくのエリア」と呼びます。



はまでらエリア (浜寺・浜寺東・浜寺石津・浜寺昭和小学校区)



人口・世帯数 (令和6 (2024) 年12月末現在)

38,851人・19,803世帯

平成27 (2015) 年比3圏域中、人口総数の減少数が最も大きく、65歳以上の増加数は最も小さい

公園・スポーツ

① 浜寺公園

② みなと堺グリーンひろば

野球場や運動ひろば、芝生ひろば等

地形・災害リスク

- ・西部は大阪湾に面し、臨海部は堺泉北臨海工業地帯で発電所や製油所など大規模な工場・事業所が集積
- ・北部に石津川が流れ、河口には石津漁港がある
- ・阪堺電車の沿線周辺とその西側沿岸部は津波浸水想定区域
- ・国道26号から西側沿岸部は高潮浸水想定区域

西部は大阪湾に面し、北部には石津川が流れています。

紀元前 6000 年から 3000 年頃に大阪湾が形成され、現在の国道 26 号線あたりが海岸線でした。その後、縄文から弥生時代に海岸線が後退し、現在の浜寺船尾町、浜寺諏訪ノ森町、浜寺昭和町のあたりは平地となりました。浜寺用水路から東に 1.5 km ほど進んだ石津川下流の台地には畿内における弥生時代の代表的な遺跡である「四ツ池遺跡」(国史跡)があります。

石津漁港がある石津川河口付近には泉州の奇祭と呼ばれる火渡りの神事「石津太神社のやっさい

歴史・文化

- ③四ツ池遺跡（国史跡）
- ④石津太神社
本殿などが堺市指定有形文化財
ふとん太鼓、やっさいほっさい（市指定無形民俗文化財）で有名
- ⑤北畠顕家の碑
- ⑥浜寺公園駅旧駅舎（国登録有形文化財）
- ⑦諏訪ノ森駅旧駅舎（国登録有形文化財）
- ⑧紀州街道
- ・堺五月鯉幟（大阪府知事指定伝統工芸品）

交通

- ・南海本線
石津川駅、諏訪ノ森駅、浜寺公園駅
- ・阪堺電気軌道
石津北駅、石津駅、船尾駅、浜寺駅前駅
- ・南海バス
西部の築港新町以东の各駅から鳳方面までの東西を結ぶ路線

子育て・教育

- ・認定こども園8施設
- ・幼稚園1園
- ・小学校4校
- ・中学校2校
- ・大学1施設
羽衣国際大学は地域と連携した事業が盛んで、西区と連携協定を締結



堺五月鯉幟（大阪府知事指定伝統工芸品）

「ほっさい」（市指定無形民俗文化財）が伝わる石津太神社があります。このエリアは水はけのよい砂質のため、畑に数百基の自動灌水用の風車が回る光景が風物詩でした。

平安時代の歌人紀貫之の土佐日記に「石津」という地名が登場し、南北朝時代に南朝の拠点として三光国師が「浜の寺」と呼ばれる大雄寺を建てたことが「浜寺」の地名になりました。紀州街道を南進し、太陽橋を渡った場所に石津川の戦いで討たれた南朝の大將北畠顕家の碑が建てられています。

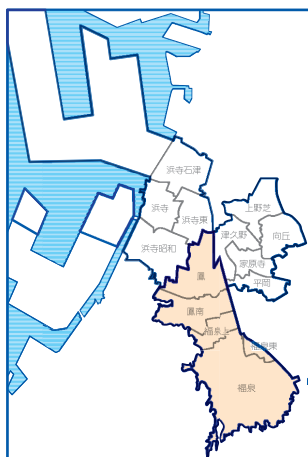
浜寺の海岸は白砂青松の美しい景勝地であり、明治 6 年に日本で最も古い公営公園の一つ浜寺公園が整備され、今では四季折々の花々が楽しめ、プールやスポーツ施設もある地域住民の憩いの場になっています。

南海電車や阪堺電車が通り、海水浴場やリゾート地として賑わい、その周辺には国登録有形文化財であるハーフティンバー様式の意匠をもつ浜寺公園駅旧駅舎やステンドグラスの美しい諏訪ノ森駅旧駅舎、大正・昭和初期に建てられた洋館などの歴史的建造物があり、古くから別荘地・閑静な住宅地として開発されました。

昭和 30 年代からは臨海部の埋め立てが始まり、石油化学工場や発電所のある国内有数の工業地帯となり、現在では工場夜景が魅力の一つとなっています。

南海本線の諏訪ノ森駅から浜寺公園駅付近では南海本線連続立体交差事業を実施しており、都市の円滑な移動を確保する交通機能や都市防災機能の強化を図っています。旧駅舎を活用し古くから受け継がれるまちの魅力に加え、安全で快適な交通環境を通して、より住みやすいまちの発展をめざしています。

おおとり・ふくいずみエリア (鳳・鳳南・福泉・福泉上・福泉東小学校区)



人口・世帯数 (令和6 (2024) 年12月末現在)

57,257人・27,167世帯

平成27 (2015) 年比3圏域中、最も年少人口の減少数が多いが、唯一15～64歳の方の人口が増加

地形・災害リスク

東部に石津川、中南部には和田川が流れる。両河川の流域及び土地の低い府道大阪和泉泉南線沿線は河川氾濫による洪水浸水想定区域

公園・スポーツ

① 鳳公園

平成18 (2006) 年に開設した防災公園

② 笠池公園

桜が美しい

鳳地域は古くから熊野詣の参詣道である熊野街道(小栗街道)が通る交通の要衝として栄え、和泉の国の一の宮である大鳥大社があります。平清盛も熊野詣の途中に立ち寄り歌を詠んでおり、江戸時代には紀州方面への参勤交代の宿場町としても発展しました。

このエリアでは、古くからの地名大鳥・野田・北王子・野代・新在家・長承寺・上村などが今も使われていて、各町の特色あるだんじりが繰り出し、勇壮な秋祭りが行われています。

歴史・文化

- ③大鳥大社
本殿などが堺市指定有形文化財
- ④日部（くさべ）神社
本殿と石燈籠が国の重要文化財
神門は堺市指定有形文化財
- ⑤菱木神社
- ⑥上地蔵尊
- ⑦歯痛地蔵
- ⑧熊野（小栗）街道
- ⑨鶴田池

交通

- ・ JR阪和線
鳳駅（快速電車の停車駅。
乗車人員約18,000人/日）
- ・ 南海バス
南部のふくいずみエリアと
鳳駅を南北に結ぶ路線
（梅・美木多駅、光明池駅方
面へアクセス可）

子育て・教育

- ・ 認定こども園12施設
- ・ 保育所6施設
- ・ 幼稚園1園
- ・ 小学校5校
- ・ 中学校2校
- ・ 高等学校4校
- ・ 大学1施設



西区役所



鳳駅

昭和4年に現在のJR 阪和線が開通し、鳳駅を中心に当時は裁判所や法務局、郵便局など官公庁の出先機関が置かれていました。

政令市移行後、鳳駅南側は大規模工場跡地に商業施設や住宅の開発が進み、防災機能を備えた鳳公園や鳳駅前ロータリーが整備されました。鳳駅前から和泉泉南線と並行して駅前本通り商店街があり、和泉泉南線沿いには区役所、警察、図書館、泉北府民センターなど公共施設が所在しています。

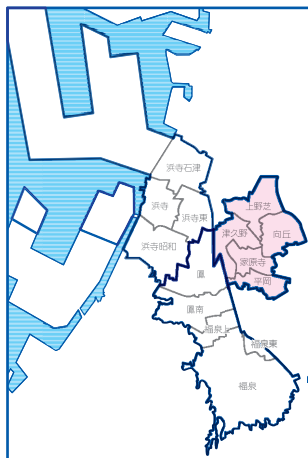
南部の福泉地域は、昭和40年代に都市開発が始まった住宅地域です。泉北2号線沿いに中高層住宅が立ち並び、比較的新しい住宅地域が広がっていますが、福泉地域の中央付近には和田川が南北に流れ、鶴田池等の多くの農業用ため池が点在し、田園風景が残っています。

開発が進むにつれて必要がなくなった農業用ため池はいくつか埋め立てられ公園や住宅となりました。桜の美しい笠池公園もその一つです。日部神社は本殿と石燈籠が国の重要文化財、神門が市指定有形文化財に指定されており、菱木神社とともに秋祭りにはだんじりが宮入します。また、上地蔵尊、太平寺や行興寺、鶴田池や元禄池などは僧行基が築造したと伝えられています。

昭和 56 年に人口急増のため新たに福泉東小学校が開校しましたが、現在では人口が減少しています。

このエリアは南北に長く広がり、北部の都市風景と南部の市街化調整区域が多い田園風景が融合する様々な可能性を持つエリアです。

つくのエリア (津久野・向丘・平岡・家原寺・上野芝小学校区)



人口・世帯数 (令和6 (2024) 年12月末現在)

38,768人・18,442世帯

平成27 (2015) 年比3圏域中、人口総数・年少人口の減少数が最も小さい

地形・災害リスク

- ・西部に石津川、北部に百済川が流れ、両河川の流域及び津久野駅周辺は洪水浸水想定区域
- ・家原寺小学校周辺の一部は土砂災害特別警戒区域

公園・スポーツ

- ①家原大池公園・家原大池体育館
- ②神野公園
- ③津久野公園
- ④霞ヶ丘公園

西部に石津川、北部に百済川が流れ、上町台地の南端からつづく丘陵地が広がる地域です。このエリアは昭和 30 年代から 50 年代にかけて宅地分譲や公団などの住宅建設が進み、泉北 1 号線が整備されました。

「津久野」は古くは「踞尾」でしたが、急速な住宅開発に伴い、新駅「踞尾駅」の設置を要望していましたが、「踞尾」が当用漢字（現常用漢字）になかったことから「津久野駅」となり昭和 35 年に開駅されました。

北部の堺区との境に、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の構成資産の一つ履中天皇陵古墳があります。上野芝は現在の JR 阪和線が開通した昭和 4 年以降、良好な住宅地として発展し、現在大

歴史・文化

- ⑤履中天皇陵古墳（世界遺産構成資産）
- ⑥大塚山古墳跡
- ⑦文珠塚古墳
- ⑧守屋池
- ⑨家原寺（府規則指定史跡）
- ⑩踞尾八幡神社
- ⑩因念寺
- ⑪向ヶ丘八幡宮
- ⑫和泉式部旧居跡

- ・注染（浪華本染め）
（経済産業大臣指定伝統工芸品）
- ・和晒



市立総合医療センター



注染（浪華本染め）
（経済産業大臣指定伝統工芸品）

交通

- ・ JR阪和線
上野芝駅、津久野駅
- ・ 南海バス
上野芝駅・津久野駅・市立総合医療センター等と市内主要駅（堺東駅、中百舌鳥駅、深井駅等）を結ぶ南北・東西路線

子育て・教育

- ・ 認定こども園5施設
- ・ 幼稚園2園
- ・ 小学校5校
- ・ 中学校2校

規模なマンションも建つ住宅地です。住宅地の中に大塚山古墳の墳丘の形がカーブとして残っています。昭和 58 年には上野芝駅東側にロータリーが整備され、泉北 1 号線とつながり利便性が向上しました。

石津川周辺には堺の伝統産業である注染（浪華本染め）（経済産業大臣指定伝統工芸品）製品・和晒の工場が点在し、その少し南の小高い丘に義経や弁慶が来訪したと伝わる踞尾八幡神社があります。

旧石津川が氾濫を繰り返すため、昭和 7 年に強固な万年橋が架けられましたが、旧石津川の大改修によるつけかえにより現在は川のない橋として残されています。

津久野駅の周辺には大規模商業施設があり、駅から南に行くと堺市立総合医療センター、家原大池体育館といった公的施設が立ち並んでいます。

家原大池体育館から道を挟んで北東には僧行基が自ら生家を寺にした家原寺があります。平岡地域には平安時代に夫とともに赴任し暮らした和泉式部の旧居跡が残り、伊勢路川沿いは桜が楽しめます。また、向ヶ丘八幡宮や文珠塚古墳、守屋池公園なども住民に親しまれている場所です。

このエリアでも、秋には各町による勇壮なだんじりが曳行され、新しい街並みの中にも古くから住民が守り続けてきた歴史や伝統が感じられる地域です。

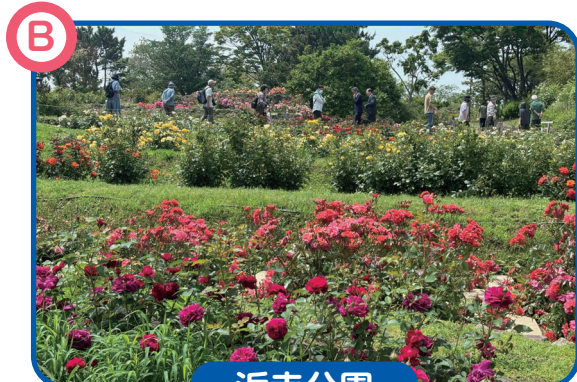
津久野駅周辺再整備基本構想が示され、今後より安全で便利な環境を構築し、多くの人が交流するまちになることが期待されます。

西区いいところマップ

区域内には自然豊かで花の美しい公園や歴史・文化の見どころなど、魅力あふれるおでかけスポットがたくさんあります。



堺泉北臨工場地帯の夜景



浜寺公園



浜寺公園駅旧駅舎



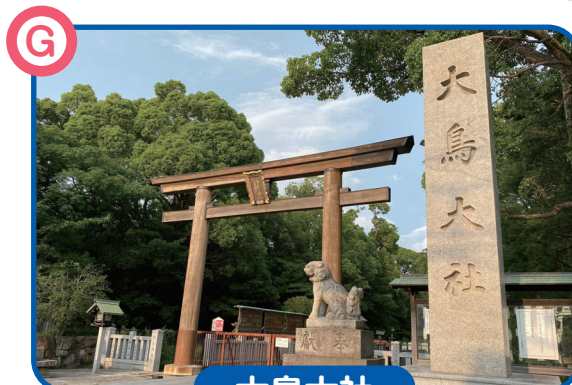
諏訪ノ森駅旧駅舎



石津太神社



四ツ池遺跡



大鳥大社





履中天皇陵古墳



家原寺



家原大池公園



笠池公園



日部神社

第3章 西区の将来像と基本方針

I 西区のめざす将来像と基本姿勢

1 めざす将来像

ひとの想いがつながり 地域の宝が輝く 笑顔あふれる 西区
～ 持続的に発展する 住みたい 住み続けたい 西区 ～

人口減少社会の様々な課題に直面する中、すべての人が自ら住む地域に愛着を抱き、持てる力を発揮し、自分らしく輝きながら、安全に安心して笑顔で暮らせ、かつ地域社会を実現し、持続的に発展し続ける西区であることが理想です。

こうした理想を実現するためには、多様なニーズや価値観を尊重しながら、人と人が柔軟につながり、新たな価値を生み出せる地域社会であることが重要です。

西区には、地域を想い、支え合う人々の温かさや、歴史・文化・産業・地域コミュニティや活動・多様な人材も含め、これまで 長年にわたり育まれ、守られてきた「地域の宝」があります。

「想い」をもつ人と人とが協力し合い、これらの「地域の宝」を輝かせ、未来につなげることで持続的な発展が可能となります。また、「想い」を持つ人と人とが結びつき、協力し合うことで新たな地域の宝を発掘できる可能性も秘めています。

そのため、これまで掲げてきた「ひと・まち・資源がつながり笑顔かがやく西区」の理念を継承しながら、西区に暮らす人々の「想い」と西区の「地域の宝」に重点を置いた「ひとの想いがつながり地域の宝が輝く 笑顔あふれる 西区」を、めざすべき将来像として掲げます。

< 体系図 >



2 基本姿勢

将来像を実現するため、次の2つの基本姿勢で全ての基本方針に基づく施策を実施します。

基本姿勢 1

プラットフォーム・ビルダー

～つなぐ力を高め 地域の課題解決を進める～

地域社会では女性や若者、高齢者、障害者、外国人など多様な人々が活躍し、活動の場を広げています。一方で、生産年齢人口の減少、共働き世帯の増加や労働者の定年延長などにより、地域活動を支える人材の高齢化や負担の増加が懸念される中、特定の人に負担が偏ることなく、それぞれが自らの個性や能力を十分に発揮できる地域社会の実現が求められています。

実現には、区民、自治会、ボランティア・市民活動団体、民間事業者などの地域で活動する多様な人々が、自らの想いで無理のない範囲で結びつき、それぞれの持つ力を発揮し、連携・協働して地域の課題を解決できる環境が必要です。

そのため区役所は、住民サービスを提供するサービス・プロバイダーの役割に加え、地域で何か役に立ちたい、力を発揮したいと考える人どうしを結び、相互に協力し合える環境をつくる「プラットフォーム・ビルダー」(*)の役割を果たします。また、地域の中での自発的な相互連携を支援します。

マッチング(つなぐ)には、想いに共感し、相互に受容されることが重要です。従来の地縁型コミュニティに加え、防災や子育て、健康、文化・スポーツなど、共通の関心事でつながるテーマ型コミュニティの概念を取り入れ、従来の枠組みにとらわれず強制感・負担感が生まれづらい楽しくやりがいのある活動となるよう、対話を重視しながら柔軟に活動主体をつなぎます。

(*)「プラットフォーム・ビルダー」

地域のために主体的に活動する人や団体どうしを結びつけ、相互に協力し合える環境をつくる役割

地域をつなぐ「プラットフォーム・ビルダー」に！

みんなと想いを共有 ともに考え 新たな価値を創造



基本姿勢 2

スマート区役所

～デジタル社会と調和した住民サービスの質の向上～

区役所は、新たな行政課題に対し迅速に対応できるよう即応性と柔軟性を向上させ、住民の期待に応えることが求められています。生産年齢人口の減少等により職員の確保が困難となる中、ICTの積極的な活用による住民サービスの高機能化を図ると同時に、行政の業務効率化が不可欠です。

また、地域活動においても活動内容やコミュニケーションにICTなどの先端技術を取り入れることで、より柔軟かつ円滑な活動が期待できます。

他方で、デジタル機器の利用が困難な人への配慮も欠かせません。直接対話することで解決できる課題もあり、誰一人取り残されることのない行政サービスを提供する必要があります。

「デジタル」と「アナログ」の調和で

みんなにとって 便利で安心 頼れる区役所

区役所では住民の暮らしに寄り添った持続可能な区政運営と住民サービスの質の向上の両立を図るため「スマート区役所」(*)として次の姿勢で取り組みます。

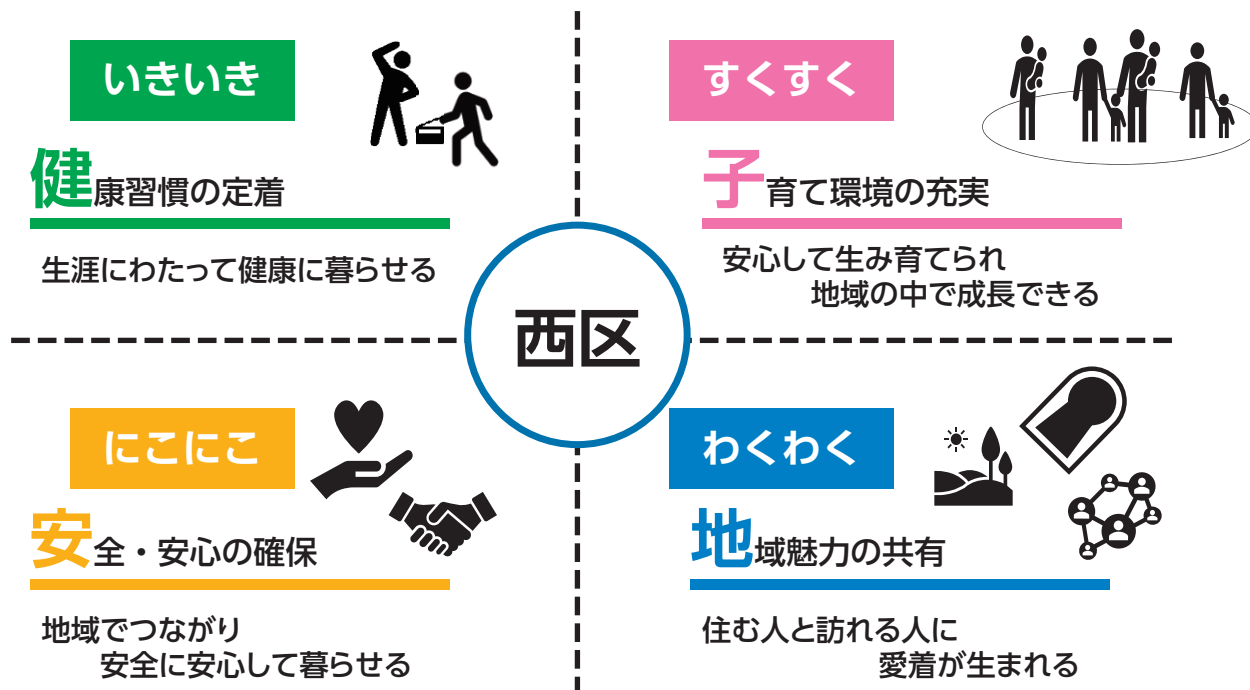
- 窓口改革による業務フロー全体の見直しを通じて、「お越しいただかない」「お待たせしない」「お書きいただかない」「分かりやすい」行政サービスの提供を推進し、利便性を向上させます。
- これらの取組を支えるために、住民と行政の双方がデジタル技術に対する理解を深め、ICTリテラシーを高められるよう意識改革に取り組みます。
- 一方で、デジタル技術の利用が不慣れな人や困難な人に対し、操作方法を学べる機会の提供など、デジタル・ディバイドの解消に取り組みます。
- 窓口での丁寧な対応や家庭訪問などの対面でのコミュニケーションを図るなど、誰一人取り残されることのない、きめ細かなサービスを提供します。

(*) スマート区役所

ICTなどの先端技術の活用によるスピードやスリム化を重視した住民サービスの質の向上、利便性の向上といった側面だけでなく、安全・安心な暮らしを支えるため住民に寄り添ったやさしいサービスを提供できる区役所

Ⅱ 4つの基本方針

西区がめざす将来像「ひとの想いがつながり 地域の宝が輝く 笑顔あふれる 西区」を実現するため、必要となる4つの要素を基本方針とします。



<堺市 SDGs 未来都市計画>

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、平成 27 (2015) 年の国連サミットで採択された国際社会の普遍的目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で、多様性と包摂性のある社会を実現するため、令和 12 (2030) 年を年限とする 17 の目標 (ゴール) とその下に 169 のターゲットが定められており、全ての国、あらゆるステークホルダーが取り組むべき目標とされています。

本市では、「堺市 SDGs 未来都市計画」を策定し、SDGs のゴール達成に向けた具体的な取組を推進しています。



基本方針 1 健康習慣の定着

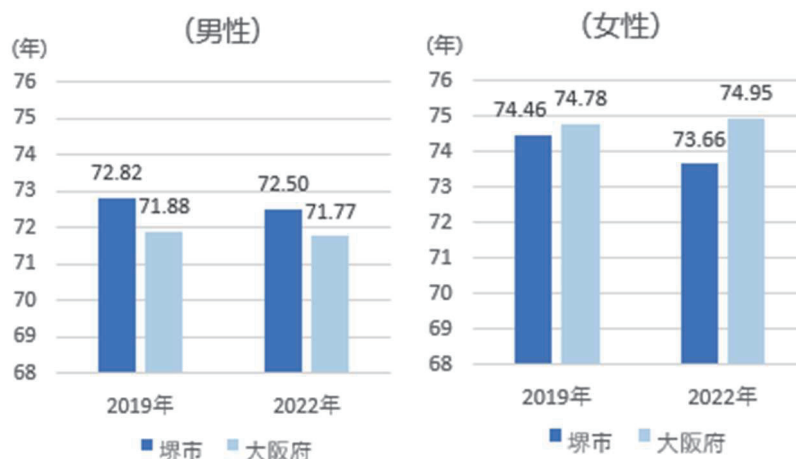


いきいき 生涯にわたって健康に暮らせる

【現状・課題】

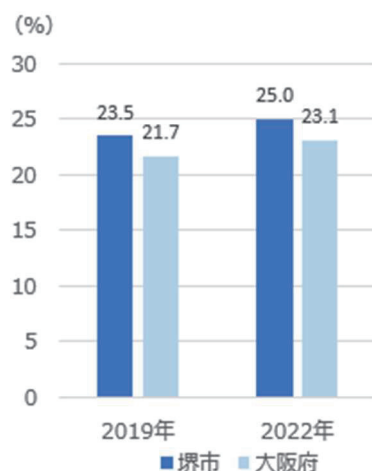
令和元（2019）年と令和4（2022）年の市の健康寿命の推移をみると、男性の健康寿命は府をおおむね上回って推移しています。女性の健康寿命は、令和元（2019）年、令和4（2022）年とも府を下回っています。要介護認定率は、市・府いずれも上昇しており、市は府を上回って推移しています。また、特定健康診査の結果をみると、西区では男女ともに堺市全体と比べて、血圧が高い人が多い傾向にあります（資料編p41を参照）。一方、区民アンケートによると「フレイル」という言葉を知っていると回答した40歳以上の西区民の割合は41.1%であり、5割を下回っています。また、一人暮らしの高齢者が年々増加しており（第2章p7を参照）、食生活などの生活習慣の乱れが懸念されます。

＜健康寿命の推移＞



資料:令和6年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金
(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)
分担研究報告書
(男性) 付表 5-1. 「日常生活に制限のない期間の平均」
(女性) 付表 5-2. 「日常生活に制限のない期間の平均」

＜要介護認定率＞



令和4年（2022年）のみ
令和5年（2023年）3月末月報

資料:介護保険事業状況報告 年報

【取組の方向性】

健康寿命(*)の延伸、QOL(生活の質)の向上には、健康への意識を高め、生活習慣を改善する必要があります。このため、西区には血圧が高い人が多いという地域特性を踏まえ、世代に応じた保健指導や健康教育に取り組み、地域医療機関等と連携しながら健康への意識高揚を図ります。

また、区民の運動の継続につながる行動をデジタルとアナログの両面から支援します。

(*) 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

重点施策 1 世代に応じた健康支援

ライフステージに合わせた保健指導、健康教育とこれらに関連した普及啓発を行います。また、住民の方が興味・関心をもちやすく、参加しやすいアウトリーチ型の取組や区内医療機関や施設と連携した取組を進めます。

- 高血圧（*1）などの生活習慣病の予防
- 介護予防・フレイル（*2）・認知症の予防
- 食育の推進及び歯と口の健康を保つための対策

（*1） 最高血圧が140mmHg 以上又は最低血圧が90mmHg 以上

（*2） 加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下した状態

重点施策 2 健康行動の促進

西区では各校区が一斉に参加する「西区長杯ディスコン大会」を開催するなど、地域に根差したスポーツ活動が行われています。健康を増進する市民活動や地域コミュニティの活動の活性化を支援し、さらに活動の輪が縦にも横にも広がる取組を進めます。また、こどもから高齢者までが運動するきっかけをつくることで、運動習慣の定着につなげます。

- 地域における健康活動の支援
- 運動する機会の提供

【成果指標】

重点施策の成果指標として以下の項目を設定します。

重点 施策	成果指標	現状値 (2024年度)	目標値 (2030年度)
1	「定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか」（市民意識調査）の問いに対し「チェックしている」と回答した西区民の割合	75.5%	82.0%
1	「特定健康診査を受診していますか」（市民意識調査）の問いに対し「受診している」と回答した西区民の割合	70.5%	81.0%
1 2	「1日に30分以上の運動（日常の歩行や自転車を含む）やスポーツはどれくらい行っていますか」（市民意識調査）の問いに対し「週2 回」「週3 回以上」と回答した西区民の割合	55.5%	70.0%

基本方針 2 子育て環境の充実



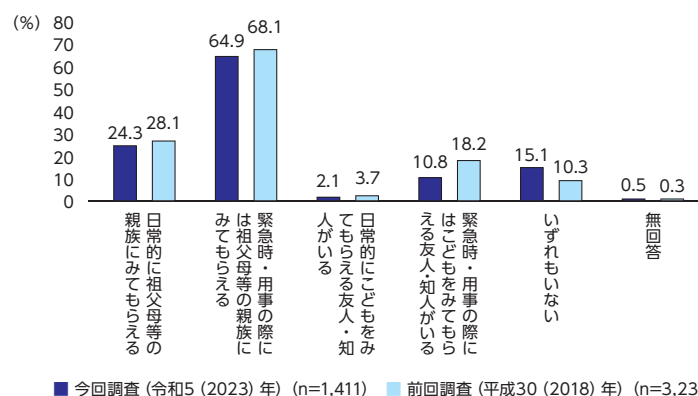
すくすく 安心して生み育てられ地域の中で成長できる

【現状・課題】

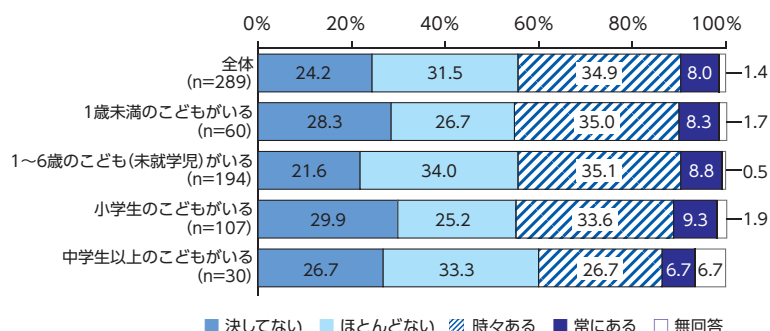
近年、世帯構造や家族観の変化など家庭をめぐる課題、周囲とのつながりの希薄化、ひきこもり、ヤングケアラー、児童虐待、いじめ、不登校など、こども・若者を取り巻く課題が顕在化しています。堺市全体の不登校の児童・生徒数は、いずれも年々増加しています（資料編p43を参照）。

令和5（2023）年堺市子ども・子育て支援に関する調査によると、「あなたのお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。」の問いに対する回答のうち、親族や友人等にみてもらえると回答した人の割合が最も高いものの、前回（平成30（2018）年）調査と比べて減少傾向にあります。また、子育て世帯の4割以上が「自分には人とのつきあいが無いと感じることがある（「常にある」と「時々ある」の合計）」と回答しており、地域とのつながりの希薄化による孤立が懸念されます。

<こどもをみてもらえる親族・知人（就学前児童保護者）>



<自分には人とのつきあいが無いと感じることがある人の割合>



資料：堺市子ども・若者の意識及び少子化社会に関する調査（令和5（2023）年）

【取組の方向性】

安心してこどもを生み育てられ、こどもが地域社会の中で大切にされながら健やかに成長するためには、地域全体で子育てを支える仕組みが必要です。このため、子育て（おおむね18歳までのこどもが対象）に不安や負担を感じる人やこども自身が孤立しないよう相談支援体制を整備し、地域で支援活動を行う主体と連携して、子育て環境を充実させます。

また、次世代を担うこどもが地域社会の一員として、将来に夢と希望をもって自分らしく成長できるよう、こどもが主役となれる西区をめざします。

重点施策1 地域でつながる子育てのWA！の充実

子育てひろばや子育てサロン・サークルなどの身近な地域で子育てを支援する団体と区役所が連携・協力を密にすることで、必要な支援につながりやすくします。また、子育てをするママやパパなどがつながることのできる機会を提供し、気軽に話せる仲間をつくることで孤立化を防ぎます。さらに、子育てに関する知りたい情報や欲しい情報を必要な人に届けます。「WA!」は、西区の子育て支援の特色を表した言葉で、輪っかの輪(わ)、循環の環(わ)、会話の話(わ)などの意味を含めたものです。

- 妊娠・出産期から青年期まで切れ目のない相談支援体制の充実
- 地域の子育て支援ネットワークの拡大
- 子育て世代が交流する場の提供
- 父親の育児参加の推進
- 子育てに関するきめ細かな情報発信

重点施策2 こどもが「主役」になれる西区

こどもが地域社会の中で健やかに成長するため、こどもの活動の成果を発表する場や多世代が交流できる場の提供を通じて、夢や希望、目標を持てるきっかけをつくり、豊かな人間性の育成をめざします。また、重点施策2を進めるにあたっては、区域内の教育機関とも連携し、こどもの意見を聴く機会や交流する機会、考えを共有する機会を設け、こどもの主体的な活動につなげます。

- こどもの意欲を引き出す応援
- こどもの豊かな人間性や主体性の育成
- こどもから大人までの世代間交流の促進

【成果指標】

重点施策の成果指標として以下の項目を設定します。

重点 施策	成果指標	現状値 (2024年度)	目標値 (2030年度)
1 2	「堺市は子育てがしやすい都市だと思いますか」(市民意識調査)の問いに対し「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した西区民の割合	54.0%	73.0%
1	「子育てなど生活や健康等の悩みがあるときの相談窓口を知っていますか」(市民意識調査)の問いに対し「知っている」と回答した西区民の割合	44.1%	80.0%

基本方針 3 安全・安心の確保



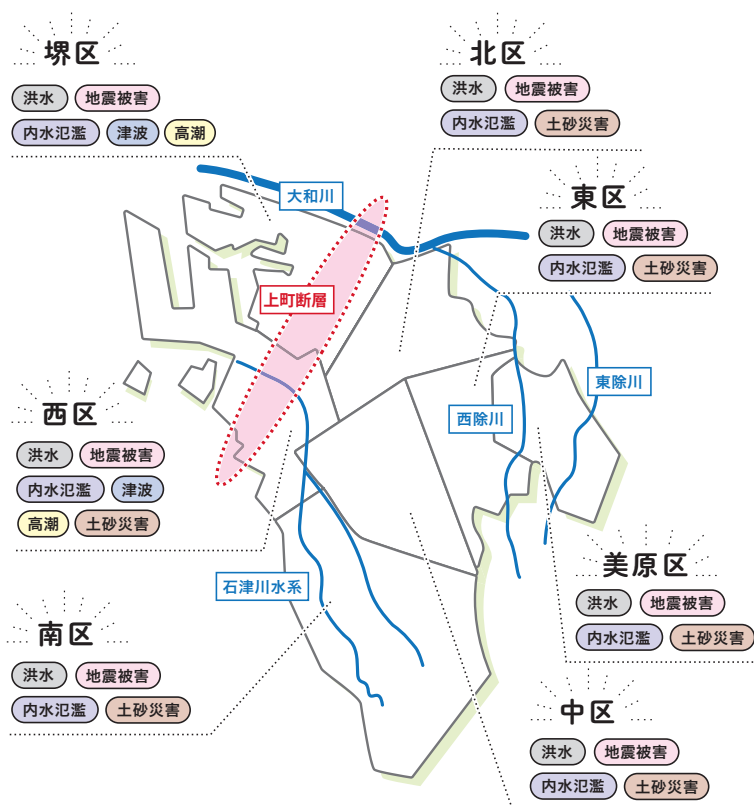
にここ 地域でつながり安全に安心して暮らせる

女性や子どもをはじめすべての人が住み慣れた西区で犯罪や災害への不安感を抱かず安心して暮らせるセーフシティの実現のため、防災・減災力を高め、犯罪や事故のない西区をめざします。また、誰一人取り残されることなく、必要な人に必要な支援が届くよう、日常生活の困り事や悩み事を地域社会の中で協力して解決できる地域福祉の充実に取り組みます。

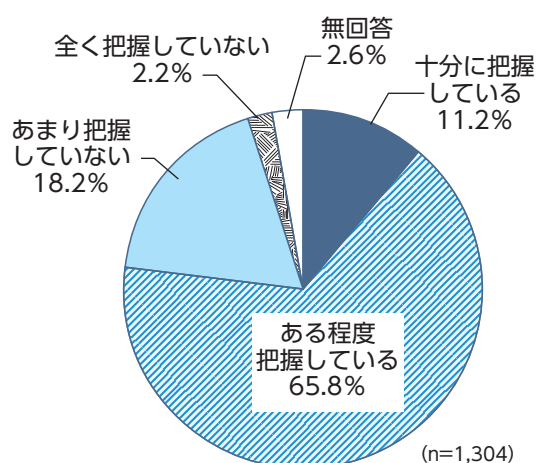
自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災

【現状・課題】

沿岸部のある西区では津波や高潮による浸水被害、石津川などの河川氾濫による浸水被害、家原寺の周辺での土砂災害などのリスクがあります。令和6（2024）年度堺市市民意識調査において「堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせる都市だと思いますか。」の問いに、「そう思わない」と回答した西区の回答者の割合は17.6%で最も高い数値です。区民アンケートでは、想定される災害を把握していると回答した割合は77%で、回答者のエリア別にみると沿岸部のはまでらエリアが84%の結果でした。一方で、非常持ち出し品や備蓄の準備をされている人が4割程度に対し、避難行動をあらかじめ決めている人や家族との連絡方法や集合場所を決めている人は2割程度にとどまりました。また、自治会加入率が減少傾向にあり（第2章p13を参照）、地域のつながりの希薄化、地域活動を支える人の高齢化などが懸念されるため、地域防災力の向上を図る必要があります。



【想定される災害の把握状況】



資料:堺市防災マップ (令和4 年3 月発行)

【取組の方向性】

激甚化する風水害や今後発生が想定される南海トラフ巨大地震、上町断層帯地震などに備えるために、全ての人が「自分の命は自分で守る」という自助の考えのもと、正しい知識をもち行動することが大切です。また、初期消火や被災者の救出、避難所運営にあたっては「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の考えのもと、地域で協力して行動できる人を増やすことが重要です。

そのため、区役所では職員の防災対応力を高め、区域内の情報を具に把握し、発災時に迅速に対応できる体制を整備します。自助・共助・公助の力をバランスよく高め、災害に強い西区をめざします。

重点施策1 地域防災力・減災力の向上

日常生活の中で防災についての意識を高め、災害リスクの把握、災害情報の収集、災害への備えができるようタッチポイントやタイミングをとらえた取組により自助を促進します。加えて、自治会や市民活動の支援を通じて共助の力を強化し、共助の輪が広がる取組を進めます。また、区役所職員の防災力及び庁舎の機能向上、地域との連携強化を進めます。

- 防災の正しい知識の共有と理解・行動の促進
- 地区防災計画の策定の支援
- 自主防災組織の活動の支援
- 住民同士が助け合える関係の構築
- 区災害対策本部の体制の強化

犯罪や事故のないセーフシティ

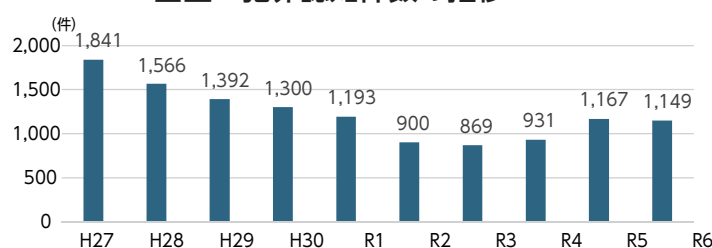
【現状・課題】

西区では、地域住民が中心となって青色防犯パトロール活動や見守り活動、西堺警察署と連携した防犯や交通安全の啓発活動、防犯カメラ・防犯灯の設置など、安全安心なまちの実現に向けた取組を進めています。

西区の犯罪認知件数は平成27年からおおむね減少傾向で推移しており、令和6（2024）年は1,149件です。これは大阪府の総数81,403件の約1.4%ですが、市内他区と比べると、堺区・北区に次いで3番目に多い件数です。犯罪認知件数は、コロナ禍の収束による社会経済活動の再開等を背景に近年増加傾向にあり、特殊詐欺被害の令和6（2024）年の西区の特殊詐欺の認知件数は44件です。堺市全体の被害総額は約4億7000万円に上り、その対策を強化する必要があります。また、交通事故発生件数は、平成27年から減少傾向ですが、市内他区と比べると令和6（2024）年で堺区に次いで2番目に多い値です。

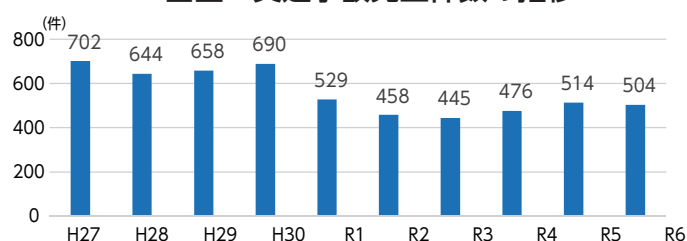
令和6（2024）年度堺市市民意識調査において「堺市は治安に関する不安が少ない都市だと思いますか」の問いに「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した西区の回答者の割合は51.0%で、「そう思わない」の割合は22.6%でした。区民アンケートでは、事故や犯罪を減らすための有効な対策に関する回答の割合は「自ら事故や被害にあわないようにする」が73.2%、「防犯カメラを設置するなどの対策」が59.1%であり、引き続き地域での自主防犯活動に取り組む必要があります。

＜西区・犯罪認知件数の推移＞



資料：「犯罪統計」（大阪府警察ホームページ）

＜西区・交通事故発生件数の推移＞



資料：「大阪の交通事故」（大阪府警察ホームページ）

【取組の方向性】

女性や子どもをはじめ、すべての住民が犯罪や事故にあわないよう、西堺警察署と密に連携し、地域住民や各種団体、事業者と協力しながら、犯罪抑止のための環境を整備し、効果的かつ持続可能な地域防犯活動や交通安全の取組を進め、安全に安心して暮らせる西区をめざします。

重点施策 2 犯罪・交通事故のないセーフシティの実現

警察や区役所などの行政機関だけでなく、自治連合協議会、防犯協会、交通安全協会、事業者や市民団体による地域ぐるみで犯罪や交通事故をなくす機運を醸成し、地域防犯活動に連携協力して取り組みます。また、手口が多様化する特殊詐欺をはじめ犯罪を未然に防ぐ対策を強化し、防犯カメラの効率的な運用など安全・安心な住民生活を守る環境を整備します。

- 特殊詐欺被害防止の強化
- 犯罪を防止・抑止する環境の整備
- 地域での見守り・防犯活動の推進
- 交通ルールやマナーの遵守の普及啓発

地域社会全体の包括的支援による福祉、相談ネットワークの充実

【現状・課題】

令和6(2024)年度堺市市民意識調査において、「介護・子育て・就労・生活困窮・病気・メンタルヘルスなど生活や健康等の悩みがあるときの相談窓口を知っていますか」の問いに対する西区の回答者の割合は、「知っている」が44.1%、「知らない」が55.9%であり、「知らない」と回答した方の割合が高くなっています。また、障害のある人や介護を必要とする人、生活困窮や生活上の課題を抱える人、年々増加する一人暮らしの高齢者（第2章p7を参照）などが地域社会の中で孤立することが懸念されます。

【取組の方向性】

高齢者や障害のある人をはじめすべての人が地域社会の中で、自分らしく生きがいをもって孤立することなく安心して暮らせるよう、日常の小さな困り事や心配事でも気軽に相談できること、どこに相談すればよいのかを知ってもらうことが重要です。複雑・多様化する暮らしの課題を抱える個人や家庭を地域で包括的に支援し、相談しづらい人や相談窓口の利用に抵抗感がある人も適切な支援につなげ、誰一人取り残されることのない西区をめざします。

重点施策 3 相談支援ネットワークの充実

暮らしの課題が大きくなる前に区役所の相談窓口等を気軽に利用していただけるよう、相談できる窓口の情報を広く周知し、孤立を防ぎます。また、困りごとを抱える人や複合的な課題を抱える人、その家族が地域社会とつながり安心して生活できるよう、区役所と関係機関及び地域福祉活動を行う人や団体が連携・協力して支援します。

- 相談窓口の周知強化
- 区役所や関係機関及び支援団体等の連携による重層的支援の充実
- 地域社会における社会参加や就労による自立支援の促進

【成果指標】

重点施策の成果指標として以下の項目を設定します。

重点 施策	成果指標	現状値 (2024年度)	目標値 (2030年度)
1	校区ごとの地区防災計画の策定割合	85.7%	100%
2	「堺市は治安に関する不安が少ないと思いますか」 (市民意識調査)の問いに対し「そう思う」「ある程度そう思う」と 回答した西区民の割合	51.0%	63.0%
3	「介護・子育て・就労・生活困窮・病気・メンタルヘルスなど生活や 健康等の悩みがあるときの相談窓口を知っていますか」 (市民意識調査)の問いに対し「知っている」と回答した西区民の割合	44.1%	80.0%
3	「健康・介護など日常生活における困りごとについて、 相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか」 (市民意識調査)の問いに対し「知っている」と回答した西区民の割合	68.9%	81.0%

基本方針 4 地域魅力の共有



わくわく 住む人と訪れる人に愛着が生まれる

【現状・課題】

西区には古くから受け継がれてきた歴史文化や伝統産業をはじめ様々な魅力的な資源があります。また、西区に愛着をもって賑わいを創出し、地域を活性化するために活躍している人々や事業者、活動団体なども大切な地域の資源です。

令和6（2024）年度市民意識調査において「堺の伝統産業であることを知っているもの」を選択する問いに対し「注染・和晒」と回答した西区民は35.3%と中区に次いで多く、他区と比べて「注染・和晒」が伝統産業として認識されていることが分かります。一方、同調査において「これからも堺市に住み続けたいですか」「堺市は魅力や愛着を感じる都市だと思いますか」「堺市は歴史文化資源を身近に感じることができる都市だと思いますか」の問いに対し「そう思う」と回答した西区民の割合は、いずれも堺市全体よりも低い値です。

【取組の方向性】

区民や来訪者が西区に魅力や愛着を感じるには、まず西区の良さを知り、気づくことから始まります。歴史文化や伝統産業だけでなく地域での様々な取組を含む西区の地域資源を魅力に感じ、興味関心をもって継続的かつ効果的に人々の間で共有される仕組みが必要です。このような仕組みを構築し、地域への愛着の醸成、次世代への継承により、住みたい、住み続けたいと思える西区をめざします。

次に、愛着をもって自らその魅力を周りに伝えられる「西区ファン」の輪を広げる仕組みを構築し、「区民が愛着と誇りをもてる西区」、「区外の方が訪れたいと思う西区」をめざします。

重点施策 1 西区の魅力の再発見

区民が自ら住む地域や訪れるまちに愛着を感じるには、地域の様々な資源を魅力的なものであると認識し、再発見してもらう必要があります。西区ならではの魅力が伝わる広報活動や歴史文化・伝統産業などの資源を活かしたイベント、文化芸術やスポーツなど様々な団体や施設等と連携した取組を行うことで、興味関心を高めます。

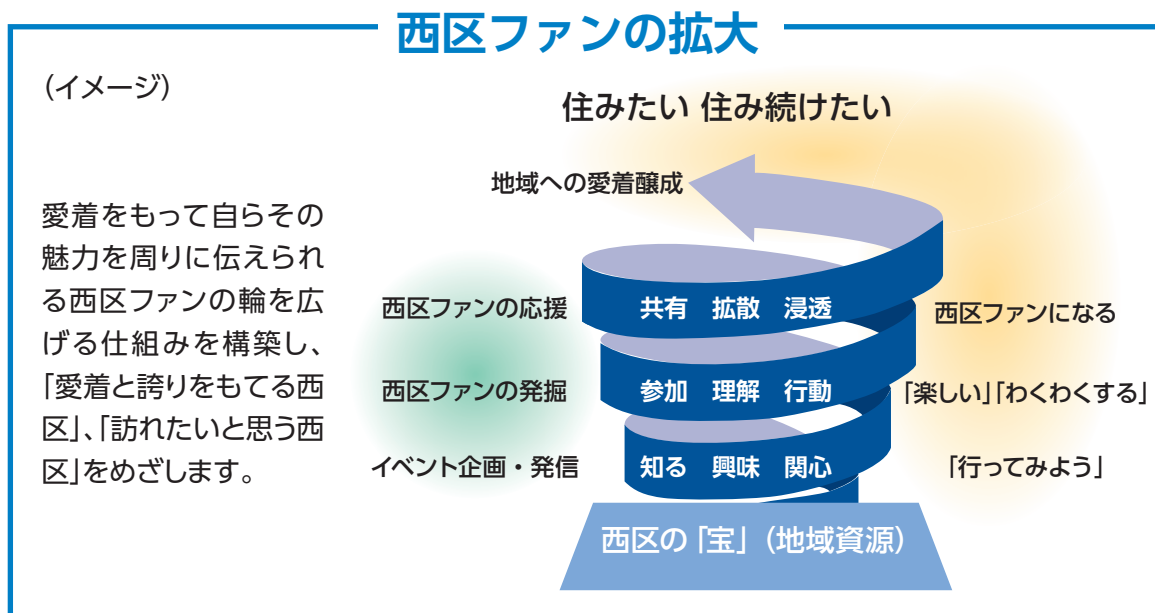
- 歴史文化・伝統産業の魅力が伝わる発信
- 地域での魅力的な取組や活動の紹介
- 文化・スポーツ資源と連携、協働した取組の推進

重点施策 2 西区ファンの拡大と魅力の浸透

西区にある地域資源を「わくわく」する気持ちで魅力ととらえ、自ら周りにもその魅力を伝えたいと考える西区ファンを見つけ、発信や活動を支援する仕組みを構築します。西区ファンによる発信や活動により西区ファンの輪が広がることで、さらに多くの住む人や訪れる人に「わくわく」する気持ちが芽生え、西区の魅力の浸透、愛着の醸成が期待できます。

また、すでに西区にある地域資源に加え、新たに住む人や訪れる人が創りだすものや多様な価値感が融合して生まれるものも西区の魅力とし、住みたい住み続けたい西区をめざします。

- 西区に「わくわく」を広げてくれる西区ファンの発掘
- 西区ファンによる「わくわく」の発信・活動の応援
- 多様な価値感の共有による新たな魅力の創造



【成果指標】

重点施策の成果指標として以下の項目を設定します。

重点施策	成果指標	現状値 (2024年度)	目標値 (2030年度)
1 2	西区公式Instagram のフォロワー数	3,270 フォロワー	6,650 フォロワー
1 2	「これからも堺市に住み続けたいと思う」(市民意識調査)の問いに対し「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した西区民の割合	82.5%	89.0%
1 2	「堺市は歴史文化資源を身近に感じることができる都市だと思う」(市民意識調査)の問いに対し「そう思う」「ある程度そう思う」と回答した西区民の割合	71.0%	83.0%
1 2	「堺の伝統産業であることを知っているものをお選びください」(市民意識調査)の問いに対し「注染・和晒」と回答した西区民の割合	35.3%	60.0%

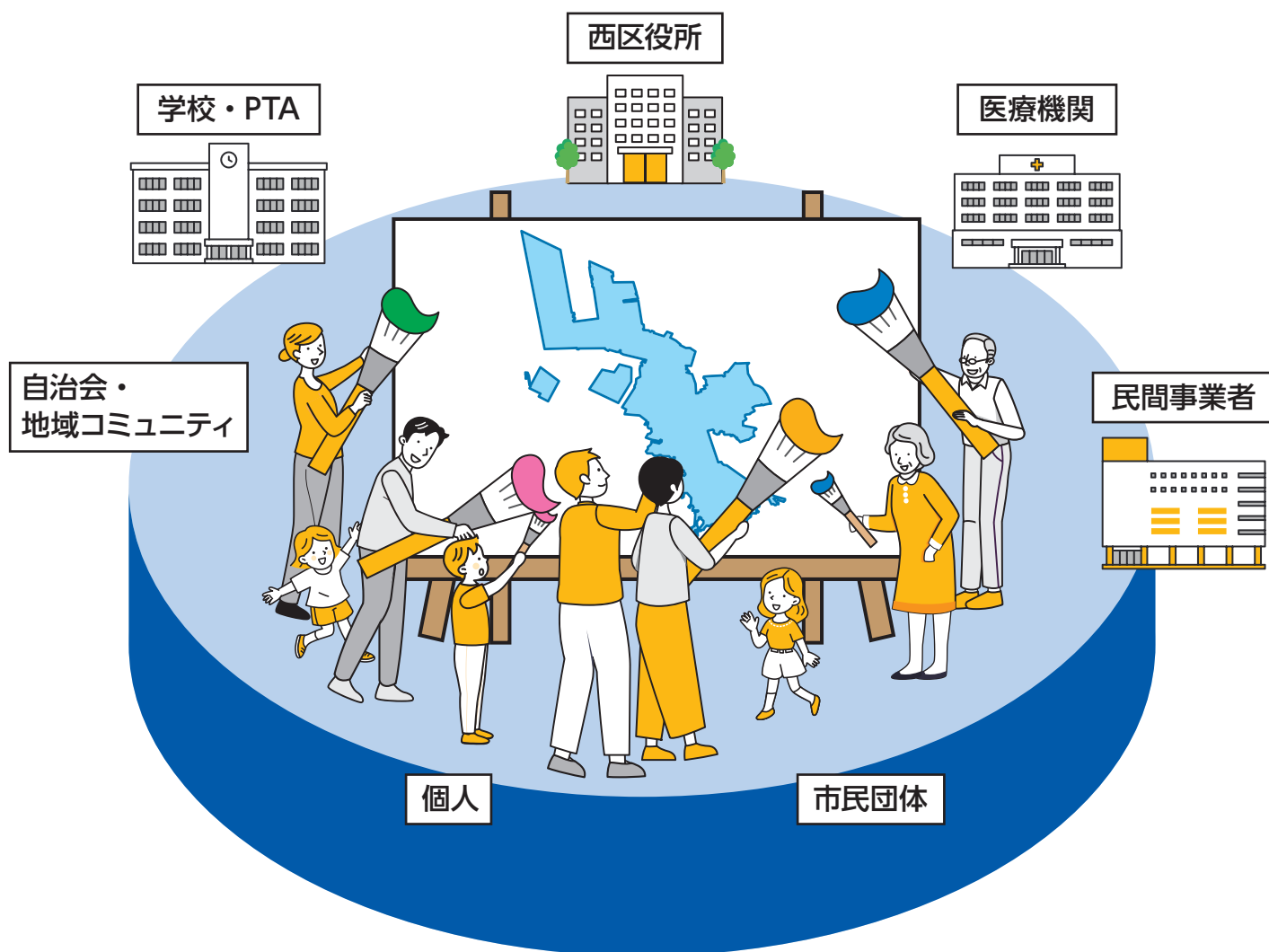
第4章 計画の推進体制

I 実施体制

主役である住民と区役所をはじめとする行政機関、地域活動を行う団体、事業者など西区の全ての活動主体が「めざす将来像」「2つの基本姿勢」「4つの基本方針」を共有し、それぞれの主体的な行動と協働により、西区全体でめざす将来像の実現に向けて取り組みます。

みんなで描こう西区の未来

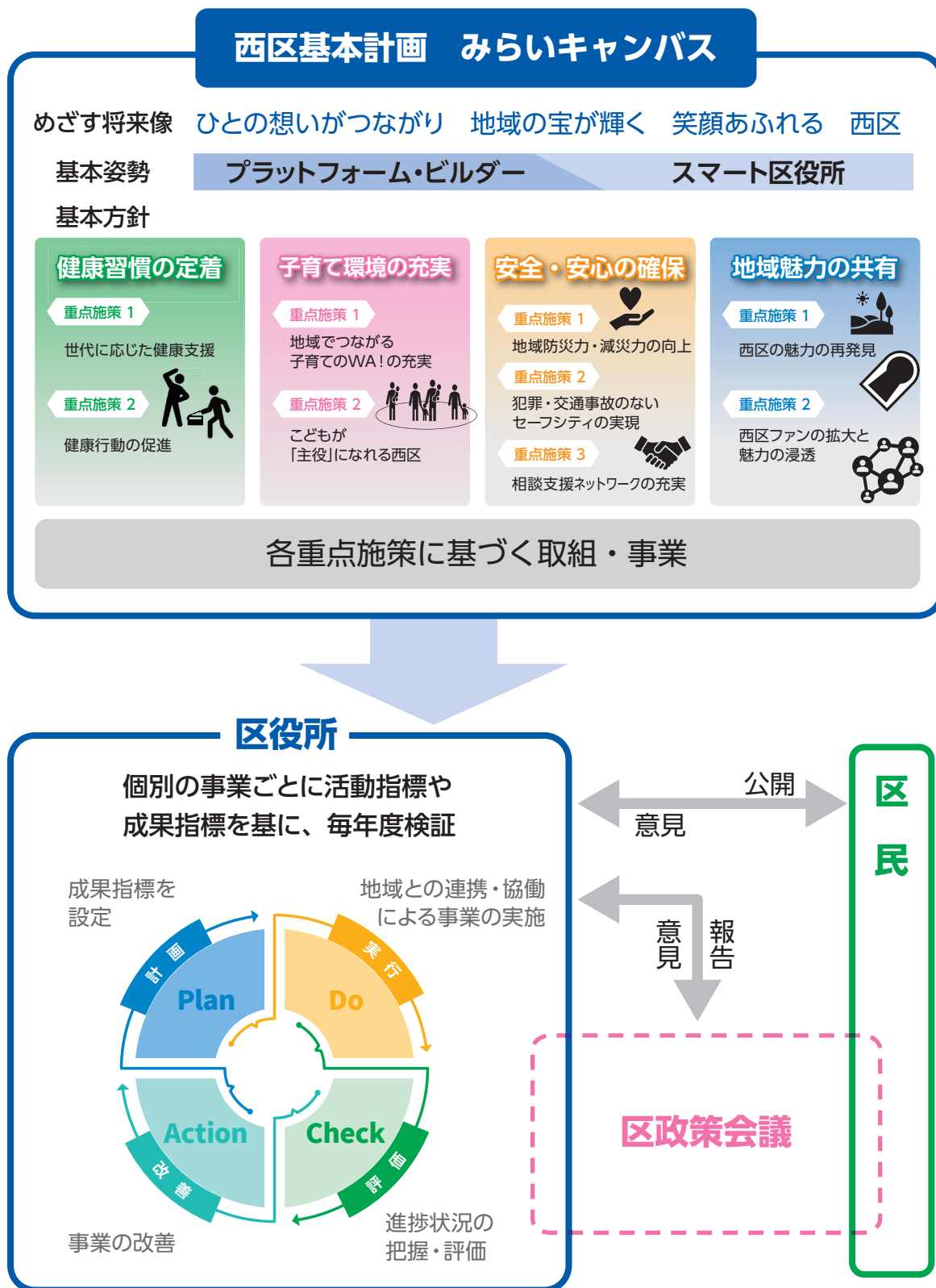
(イメージ)



Ⅱ 管理体制

本計画では4つの基本方針に基づく各事業の着実な実施と継続的な改善を図るため、個別の活動指標や成果指標を基に毎年度検証し、計画全体を管理します。検証結果等については広く区民に公開し、区政策会議で報告・意見聴取を行い、改善につなげます。

(イメージ)



資料編 数字でみる西区

1 人口

① 西区の総人口と全市との比較

＜堺市全体・区別の総人口推移＞

(人)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
西区	138,601	139,019	138,983	138,494	138,033	137,635	136,856	136,136	135,680	134,876
堺区	146,681	146,611	146,416	146,429	147,001	146,590	146,354	146,786	147,400	147,241
中区	125,161	125,027	124,410	123,689	122,920	122,144	121,308	120,223	119,112	118,050
東区	87,059	86,991	86,810	86,547	86,293	86,603	86,200	86,127	85,962	85,994
南区	149,930	147,744	145,994	144,113	142,259	140,714	138,682	136,432	134,369	132,177
北区	158,818	159,195	158,920	159,620	159,773	159,482	158,757	158,176	156,912	156,441
美原区	39,710	39,443	39,089	38,881	38,508	38,313	38,001	37,548	37,606	37,214
堺市	845,960	844,030	840,622	837,773	834,787	831,481	826,158	821,428	817,041	811,993

資料：住民基本台帳人口（外国人住民を含む）（各年12月末）

＜人口増減率の推移＞

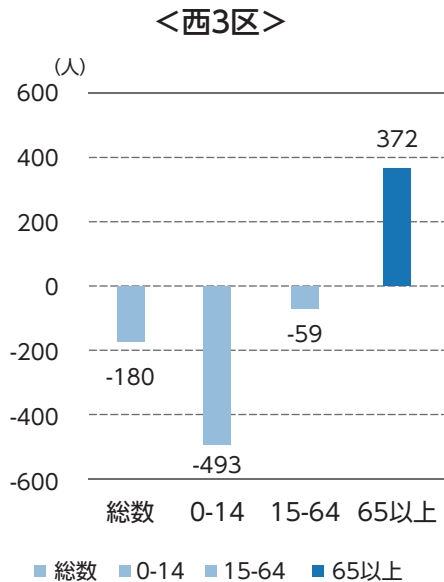
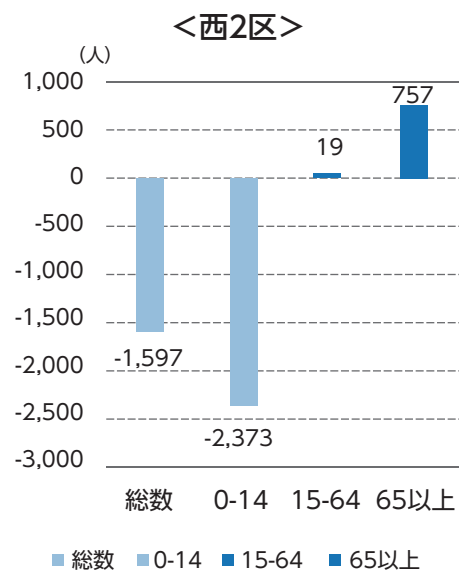
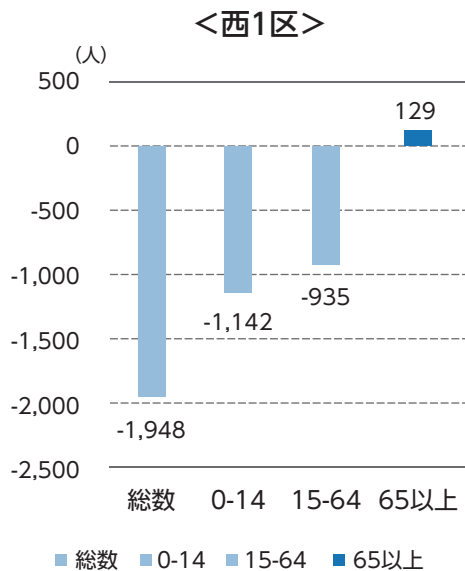
(%)

	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
西区	0.09	0.30	▲0.03	▲0.35	▲0.33	▲0.29	▲0.57	▲0.53	▲0.33	▲0.59
堺区	0.22	▲0.05	▲0.13	0.01	0.39	▲0.28	▲0.16	0.30	0.42	▲0.11
中区	▲0.05	▲0.11	▲0.49	▲0.58	▲0.62	▲0.63	▲0.68	▲0.89	▲0.92	▲0.89
東区	▲0.25	▲0.08	▲0.21	▲0.30	▲0.29	0.36	▲0.47	▲0.08	▲0.19	0.04
南区	▲1.36	▲1.46	▲1.18	▲1.29	▲1.29	▲1.09	▲1.44	▲1.62	▲1.51	▲1.63
北区	0.15	0.24	▲0.17	0.44	0.10	▲0.18	▲0.45	▲0.37	▲0.80	▲0.30
美原区	▲0.23	▲0.67	▲0.90	▲0.53	▲0.96	▲0.51	▲0.81	▲1.19	0.15	▲1.04
堺市	▲0.21	▲0.23	▲0.40	▲0.34	▲0.36	▲0.40	▲0.64	▲0.57	▲0.53	▲0.62

資料：住民基本台帳人口（外国人住民を含む）（各年12月末）

② 西区の圏域別年齢人口

圏域名	圏域を構成する小学校区
西1区	浜寺、浜寺東、浜寺石津、浜寺昭和
西2区	鳳、鳳南、福泉、福泉上、福泉東
西3区	津久野、向丘、平岡、家原寺、上野芝



人口総数			
生活圏域	2015年	2024年	増減
西1区	40,799	38,851	-1,948
西2区	58,854	57,257	-1,597
西3区	38,948	38,768	-180

0-14			
生活圏域	2015年	2024年	増減
西1区	5,413	4,271	-1,142
西2区	9,642	7,269	-2,373
西3区	5,382	4,889	-493

15-64			
生活圏域	2015年	2024年	増減
西1区	24,474	23,539	-935
西2区	35,921	35,940	19
西3区	23,192	23,133	-59

65以上			
生活圏域	2015年	2024年	増減
西1区	10,912	11,041	129
西2区	13,291	14,048	757
西3区	10,374	10,746	372

資料：住民基本台帳人口（外国人住民を含む）（各年12月末）

2 健康

① 特定健康診査の受診率

特定健康診査の受診率は、以下のとおりです。西区は、堺市全体に比べて高い傾向にあります。

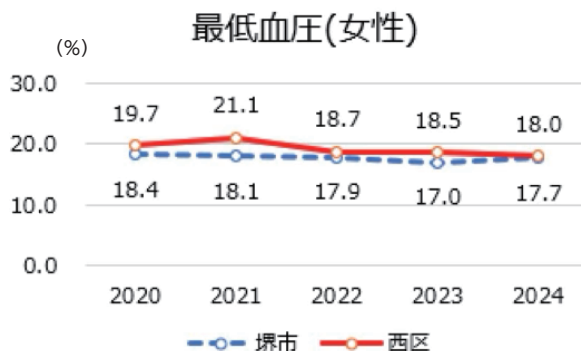
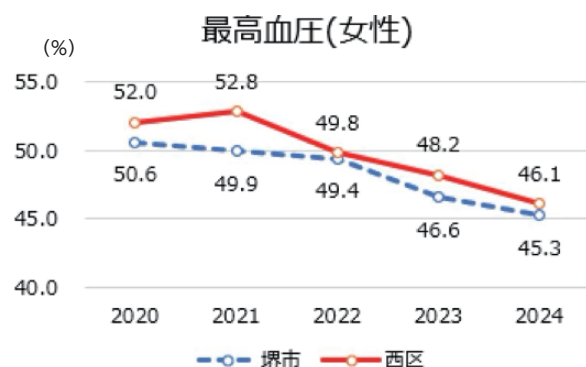
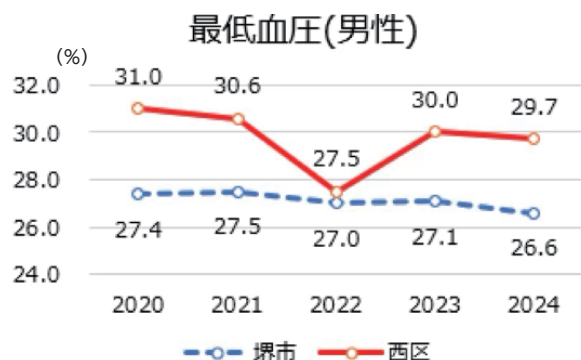
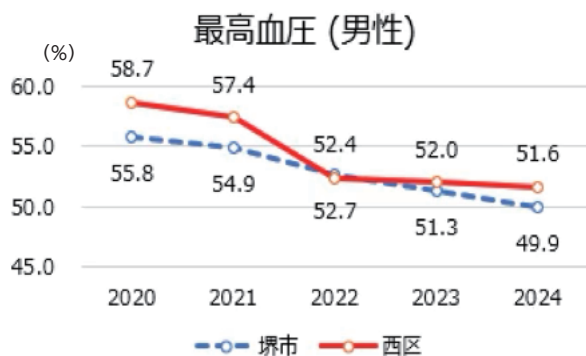


資料:堺市国民健康保険 特定健康診査結果

② 健診有所見者状況 (血圧)

収縮期血圧 (*1) 130 mm Hg 以上、拡張期血圧 (*2) 85 mm Hg 以上の人の割合は以下のとおりです。西区では、男女とも総じて堺市全体に比べて血圧が高い傾向にあります。

(*1) 「上の血圧」又は「最高血圧」と呼ばれるもの (*2) 「下の血圧」又は「最低血圧」と呼ばれるもの



資料:堺市国民健康保険 特定健康診査結果

③ 3歳児のむし歯罹患率

区分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
西区	15.2%	13.7%	11.3%	8.9%	8.6%
堺市	14.5%	12.3%	10.4%	8.7%	8.0%

資料：堺市歯科口腔保健事業年報

④ 医療施設

各区の施設数・病床数は下表のとおりです。

<各区の施設数>

	西区	堺区	中区	東区	南区	北区	美原区	堺市
病院	6	11	7	2	4	11	2	43
一般診療所	130	180	77	73	116	150	18	744
歯科診療所	74	105	52	54	69	95	11	460
計	210	296	136	129	189	256	31	1,247

<各区の病床数>

	西区	堺区	中区	東区	南区	北区	美原区	堺市
病院	1,203	2,698	2,791	299	1,662	2,613	632	11,898
一般診療所	7	23	0	20	75	33	8	166
計	1,210	2,721	2,791	319	1,737	2,646	640	12,064

資料：区政概要（令和5年10月1日時点）

3 子育て・福祉

① 子育て関連施設（西区）

ア 認定こども園（保育部分）・保育所・地域型保育事業の推移

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
施設数	33	36	37	37	38
利用定員	2,962	3,140	3,263	3,245	3,236
保育所等利用児童数	2,913	2,966	3,042	3,013	2,992
保育所等利用申込数	3,051	3,060	3,133	3,097	3,122

※施設数には分園は含まない。※他市町村からの受託は除く。

資料：区政概要（各年4月1日現在）

イ 市立小学校児童数の推移

区分	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
学校数	14	14	14	14	14
児童数（人）	7,504	7,297	7,089	6,930	6,697

資料：堺の教育 令和7年度教育要覧（各年5月1日現在）

ウ 市立中学校生徒数の推移

区分	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
学校数	6	6	6	6	6
児童数（人）	3,715	3,620	3,641	3,568	3,466

資料：堺の教育 令和7年度教育要覧（各年5月1日現在）

② 不登校者数の推移（堺市）

（人）

区分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
小学校	333	537	632	811	954
中学校	644	768	878	1,144	1,197

資料：堺市調べ

③ 児童手当等受給者数の推移（西区）

ア 認定こども園（保育部分）・保育所・地域型保育事業の推移

（人）

区分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
児童手当	10,616	10,328	10,031	9,298	8,963
児童扶養手当	1,104	1,068	1,039	1,018	990
特別児童扶養手当	424	428	398	416	442
計	12,144	11,824	11,468	10,732	10,395

資料：区政概要

④ 身体障害者手帳等（西区）

ア 身体障害者手帳交付人数の推移

(人)

区分		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
視覚障害	18歳未満	10	10	6	7	7
	18歳以上	350	346	340	346	360
聴覚障害 平衡機能障害	18歳未満	21	20	20	21	21
	18歳以上	542	555	550	543	546
音声言語そしゃく機能 障害	18歳未満	1	1	1	1	1
	18歳以上	67	69	68	66	62
肢体不自由	18歳未満	59	63	59	65	64
	18歳以上	3,242	3,218	3,135	3,063	2,966
内部障害	18歳未満	26	24	25	27	26
	18歳以上	1,696	1,722	1,717	1,709	1,711
計		6,014	6,028	5,921	5,848	5,764

資料：区政概要（各年3月31日現在）

イ 療育手帳交付人数の推移

(人)

区分		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
A	18歳未満	109	109	119	125	124
	18歳以上	445	447	455	462	472
B1	18歳未満	62	60	57	61	68
	18歳以上	288	289	291	297	309
B2	18歳未満	218	214	227	238	260
	18歳以上	219	240	250	276	289
計		1,341	1,359	1,399	1,459	1,522

資料：区政概要（各年3月31日現在）

ウ 精神障害者保健福祉手帳交付人数の推移

(人)

区分		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
1級	18歳未満	3	3	2	2	3
	18歳以上	156	167	180	202	203
2級	18歳未満	33	32	33	36	39
	18歳以上	959	1,002	1,080	1,174	1,275
3級	18歳未満	33	31	37	50	66
	18歳以上	183	198	210	226	248
計		1,367	1,433	1,542	1,690	1,834

資料：区政概要（各年3月31日現在）

⑥ 介護保険関係（西区）

ア 第1号被保険者数の推移

(人)

区分	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
人員	36,189	36,240	36,139	35,852	35,726
内 前期高齢者(65～74歳)	(17,353)	(17,403)	(16,794)	(15,705)	(14,811)
内 後期高齢者(75歳以上)	(18,836)	(18,837)	(19,345)	(20,147)	(20,915)

資料：区政概要（各年3月31日現在）

イ 要介護（要支援）認定者数（対象：第1号及び第2号被保険者）の推移

(人)

区分	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
要支援1	1,915	1,936	1,919	1,874	2,007
要支援2	1,368	1,369	1,387	1,415	1,558
要介護1	1,523	1,578	1,651	1,726	1,662
要介護2	1,522	1,574	1,503	1,431	1,529
要介護3	1,011	1,005	1,051	1,074	1,128
要介護4	1,064	1,107	1,134	1,204	1,132
要介護5	763	784	870	853	788
計	9,166	9,353	9,515	9,577	9,804

資料：区政概要（各年3月31日現在）

ウ 居宅介護（介護予防）サービス受給者数（対象：第1号及び第2号被保険者）の推移（人）

区分	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
要支援 1	461	503	526	513	575
要支援 2	632	668	677	716	777
要介護 1	1,241	1,283	1,334	1,411	1,338
要介護 2	1,321	1,392	1,299	1,272	1,373
要介護 3	747	741	775	828	851
要介護 4	596	656	697	747	677
要介護 5	399	456	508	502	447
計	5,397	5,699	5,816	5,989	6,038

資料：区政概要（各年3月31日現在）

エ 地域密着型（介護予防）サービス受給者数（対象：第1号及び第2号被保険者）の推移（人）

区分	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
要支援 1	3	3	3	1	1
要支援 2	3	2	3	1	2
要介護 1	268	277	320	319	320
要介護 2	287	271	265	293	312
要介護 3	208	189	192	213	201
要介護 4	170	163	161	169	157
要介護 5	109	108	119	129	114
計	1,048	1,013	1,063	1,125	1,107

資料：区政概要（各年3月利用分）

オ 施設介護サービス受給者数（対象：第1号及び第2号被保険者で、重複利用を含む）の推移（人）

区分	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
介護老人福祉施設	399	407	428	415	434
介護老人保健施設	324	324	305	335	321
介護療養型医療施設	5	1	1	1	0
介護医療院	－	16	13	15	20
計	728	748	747	760	773

資料：区政概要（各年3月利用分）

⑦ 生活保護の状況の推移（西区）

（人）

区分		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
被保護	世帯	2,900	2,960	2,954	2,981	2,981
	人員	3,777	3,756	3,748	3,795	3,747
保護率		27.40‰	27.35‰	27.44‰	27.94‰	27.68‰
種類別 保護 人員	生活扶助	3,323	3,349	3,323	3,366	3,328
	住宅扶助	3,369	3,359	3,348	3,398	3,361
	医療扶助	3,205	3,175	3,139	3,207	3,248
	教育扶助	261	234	245	254	235
	介護扶助	1,019	1,078	1,074	1,080	1,107
	その他扶助	42	29	38	80	35

資料：区政概要（各年3月利用分）

4 その他

① 空家

<住宅の所有の関係別住宅に住む一般世帯数・構成>

（戸）

	西区	堺区	中区	東区	南区	北区	美原区
専用住宅	7,340	14,840	5,420	4,580	9,640	10,950	1,360
店舗その他	200	420	60	230	40	60	30
計	7,540	15,260	5,480	4,810	9,680	11,010	1,390

資料：令和5年住宅・土地統計調査 住宅及び世帯に関する基本集計 第37-2表

② 産業

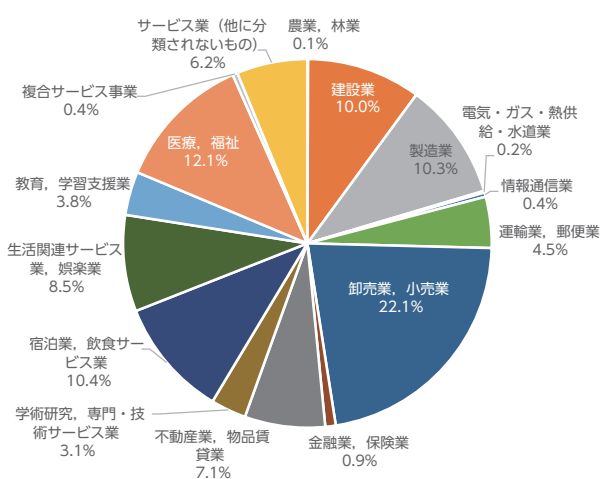
ア 産業全般

<西区の事業所数・従業者数（事業所単位）>

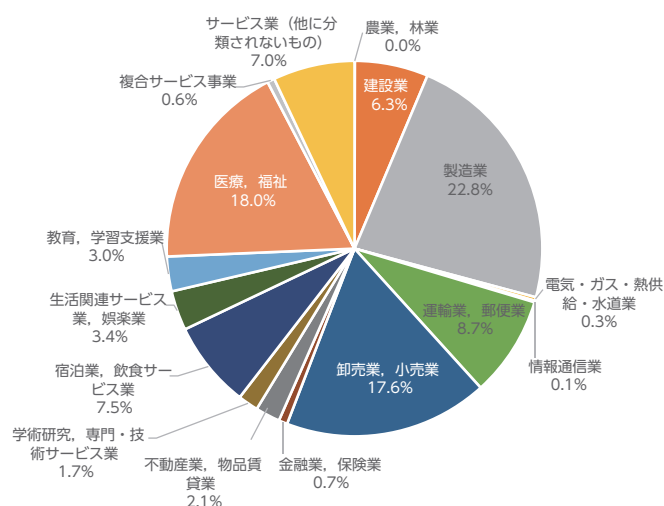
	事業所数（件）	従業者数（人）
すべての大分類	4,578	60,723
農業，林業	3	22
建設業	458	3,836
製造業	473	13,859
電気・ガス・熱供給・水道業	7	186
情報通信業	17	82
運輸業，郵便業	205	5,260
卸売業，小売業	1,013	10,668
金融業，保険業	42	454
不動産業，物品賃貸業	323	1,289
学術研究，専門・技術サービス業	142	1,061
宿泊業，飲食サービス業	477	4,530
生活関連サービス業，娯楽業	387	2,074
教育，学習支援業	175	1,813
医療，福祉	552	10,941
複合サービス事業	20	380
サービス業（他に分類されないもの）	284	4,268

※全事業所（従業者1人以上）を対象とした産業大分類ベースの集計

<西区の事業所数・構成比【事業所単位】>



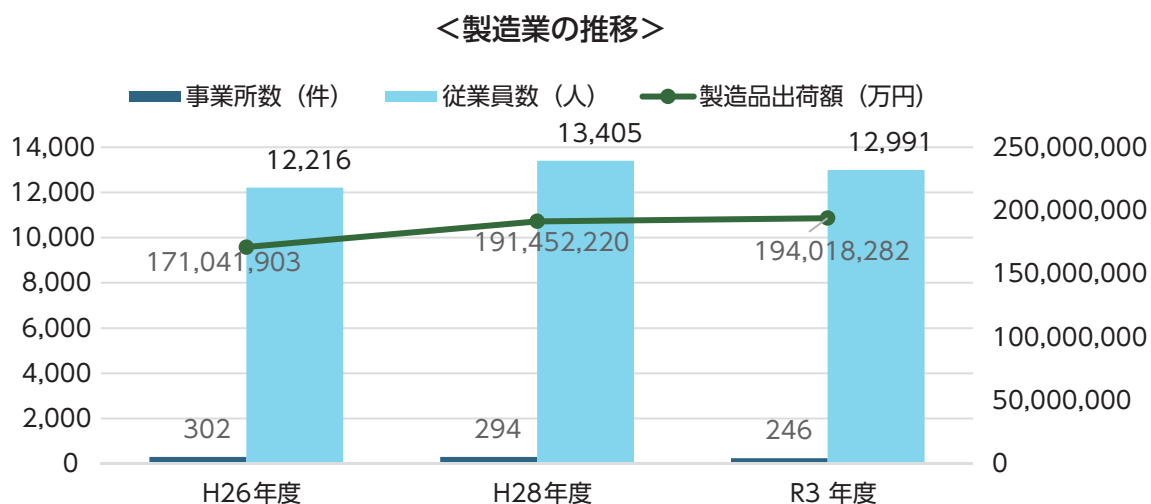
<西区の従業者数・構成比【事業所単位】>



資料：総務省・経済産業省「令和3年経済センサス活動調査」

イ 製造業

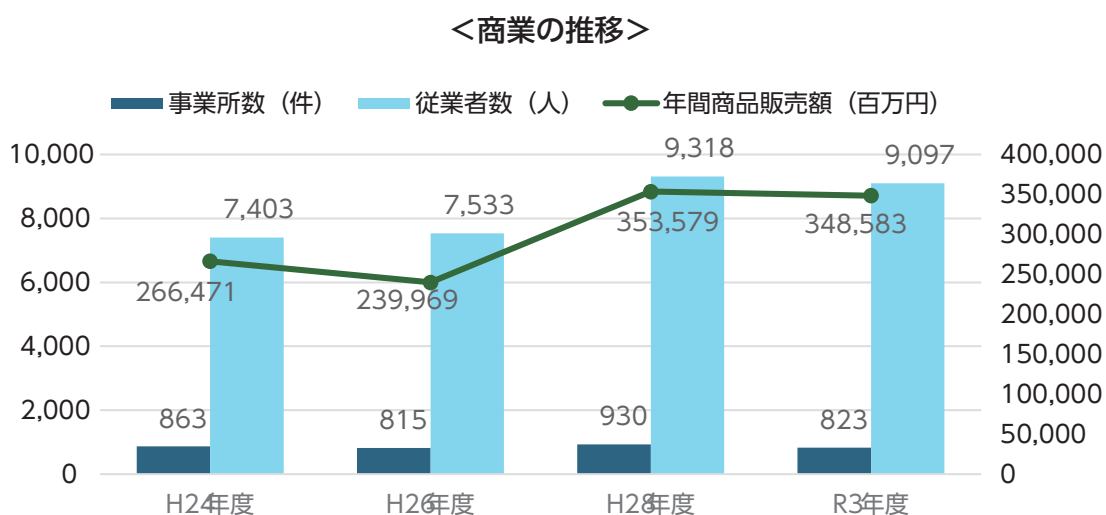
西区における製造業の状況は下図のとおりです。令和3年度は、事業所数は246、従業員数は12,991人です。



資料：令和3年経済センサス活動調査
従業員4人以上の事業所を対象とした詳細集計

ウ 商業

西区における商業の状況は下図のとおりです。令和3年度は、事業所数は823、従業員数は9,097人です。



資料：令和3年経済センサス活動調査

③ 市税科目別調定状況（現年課税分）

市税科目別調定額（令和6年5月31日現在）をみると、西区は、市民税が堺区・北区に次いで3番目、固定資産税・事業所税・都市計画税は堺区に次いで2番目に高い数値です。

（千円）

区分	西区	堺区	中区	東区	南区	北区	美原区	堺市
市 民 税	12,760,486	16,088,892	8,451,362	6,889,680	10,565,734	14,319,638	2,994,385	72,070,177
固定資産税	13,677,222	19,841,736	5,724,454	3,544,506	6,209,121	8,489,116	3,089,433	60,575,588
軽自動車税	240,794	208,035	282,523	139,947	252,465	216,422	117,048	1,457,234
市たばこ税	1,002,046	1,116,241	893,352	634,467	999,837	1,188,075	276,665	6,110,683
特別土地保有税	0	0	0	0	0	0	0	0
入 湯 税	0	347	0	0	0	0	0	347
事 業 所 税	1,347,750	2,901,702	233,129	111,875	242,078	384,382	429,811	5,650,727
都市計画税	2,389,561	3,326,126	1,156,553	824,618	1,107,658	1,943,719	484,081	11,232,316
計	31,417,859	43,483,079	16,741,373	12,145,093	19,376,893	26,541,352	7,391,423	157,097,072

資料：令和6年度区政概要

西区の市税科目別調定額の推移は次のとおりです。

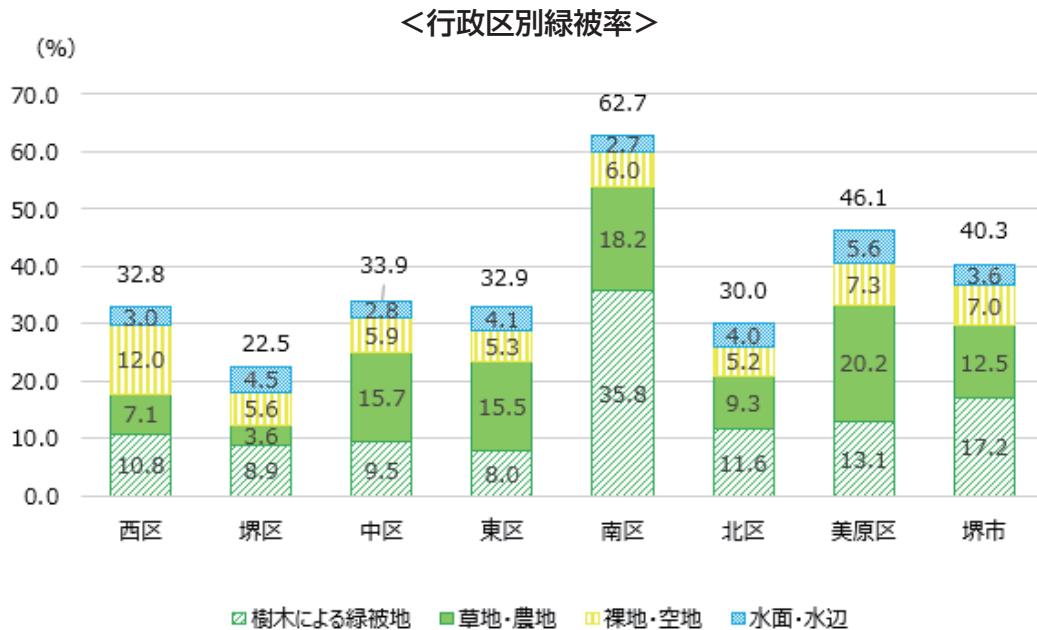
（千円）

区分	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
市 民 税	12,830,226	12,354,103	12,052,052	12,963,323	12,760,486
固定資産税	13,066,193	13,370,085	13,282,214	13,617,667	13,677,222
軽自動車税	202,566	215,122	214,032	235,187	240,794
市たばこ税	928,320	894,600	943,356	1,013,771	1,002,046
事 業 所 税	1,144,155	1,255,464	1,116,544	1,395,764	1,347,750
都市計画税	2,312,439	2,332,464	2,296,725	2,361,316	2,389,561
計	30,483,899	30,421,838	29,904,923	31,587,028	31,417,859

資料：区政概要（各年5月31日現在）

④ 公園・緑地

令和6年の西区における都市公園の公園数は211箇所、面積は69.68haで、区民1人当たり公園面積は5.24㎡です（2章を参照）。西区の緑被率は32.8%で、堺市全体よりも低い数値です。



資料：堺市緑の基本計画

⑤ 交通

西区には、JR阪和線、南海電鉄本線、阪堺電気軌道阪堺線が通っており、鳳駅（JR阪和線・羽衣線）、津久野駅（JR阪和線）、上野芝駅（JR阪和線）、浜寺公園駅（南海本線）、諏訪ノ森駅（南海本線）、石津川駅（南海本線）、浜寺駅前駅（阪堺電気軌道）、石津駅（阪堺電気軌道）、石津北駅（阪堺電気軌道）、船尾駅（阪堺電気軌道）の合計10駅が所在します。

なかでも、JR阪和線鳳駅は快速停車駅であり、交通の要所です。市内主要駅の一日当たりの乗車人員の平成27（2015）年と令和5（2023）年の増減率をみると、JR阪和線鳳駅は上位8駅中、唯一増加しており、1日約18,000人が乗車しています。

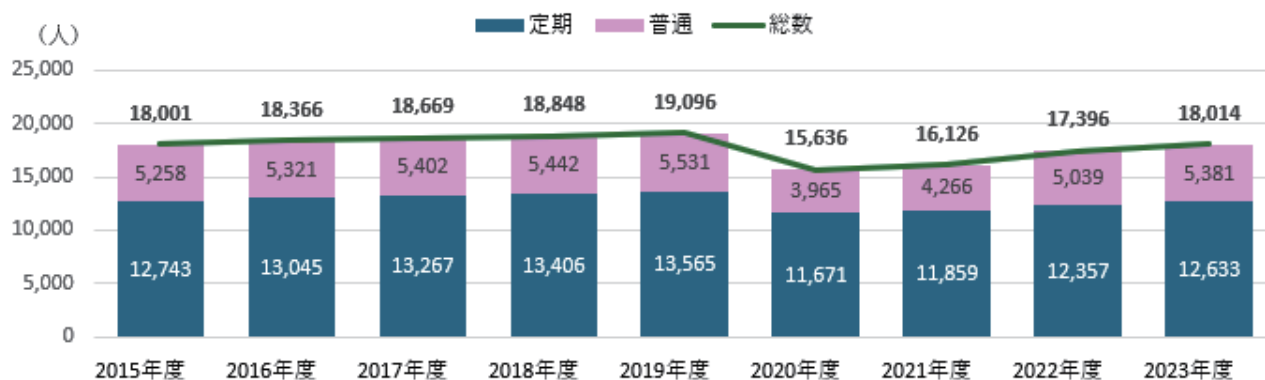
＜1日当たりの乗車人員順位（市内）の推移＞

順位	線・駅名	2015年(人)	順位	線・駅名	2023年(人)	増減率
1	泉北高速鉄道 中百舌鳥	59,756	1	泉北高速鉄道 中百舌鳥	53,164	-11.0%
2	メトロ なかもず	40,976	2	メトロ なかもず	35,085	-14.4%
3	南海高野線 堺東	29,145	3	南海高野線 堺東	27,080	-7.1%
4	JR阪和線 三国ヶ丘	23,956	4	JR阪和線 三国ヶ丘	22,845	-4.6%
5	泉北高速鉄道 泉ヶ丘	21,105	5	南海高野線 三国ヶ丘	18,383	-9.6%
6	南海高野線 三国ヶ丘	20,336	6	JR阪和線 鳳	18,014	0.1%
7	南海本線 堺	18,192	7	泉北高速鉄道 泉ヶ丘	17,772	-15.8%
8	JR阪和線 鳳	18,001	8	南海本線 堺	17,469	-4.0%

資料：平成27年度・令和6年度 大阪府統計年鑑

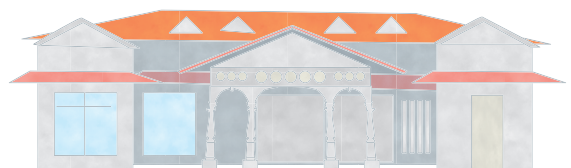
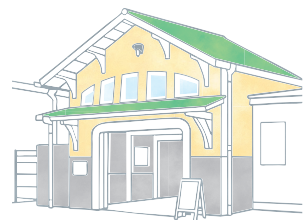
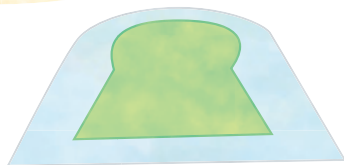
鳳駅の利用状況の推移は以下のとおりであり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一旦は減少したものの、その後は増加傾向にあります。

<JR阪和線鳳駅の1日平均乗車人員>



資料：堺市統計書

MEMO



堺市西区基本計画
令和 年 月 策定

堺市西区役所政策推進室

〒593-8324 堺市西区鳳東町6丁600番地

電 話 072-275-1926

F A X 072-275-1915

ホームページ <https://www.city.sakai.lg.jp/nishi/index.html>

堺市行政資料番号 1-●●-●●-●●●●